

## 学生の確保の見通し等を記載した書類 目次

(1)	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	
①	学生の確保の見通し	
	ア 文学部歴史文化学科の定員充足の見込み	1
	イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	3
②	学生確保に向けた具体的な取組状況	7
(2)	人材需要の動向等社会の要請	
①	文学部歴史文化学科の人材の養成に関する目的その他の教育 研究上の目的（概要）	11
②	上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえた ものであることの客観的な根拠	11
③	資料の概要	12

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### ①学生の確保の見通し

##### ア 文学部歴史文化学科の定員充足の見込み

###### 1) 文学部歴史文化学科の定員設定の考え方

今回設置届出を行う文学部歴史文化学科は、入学定員を100名（収容定員400名）の設定とする。本学科は「日本史コース」「東西文化コース」「観光歴史学コース」の3コースを設置する。各コースの人数構成は、自国の歴史を多様な観点から学び、現代の理解につなげる教育を行う「日本史コース」が約35名、世界の中の日本という視点で世界の歴史・文化を学ぶ「東西文化コース」が約30名、地域社会・自治体・企業との協働プロジェクトなどフィールドワークを取り入れた教育を行うとともに、外国語教育など観光分野の人材育成と「国内旅行業務取扱管理者」資格取得支援を行う「観光歴史学コース」を約35名と考え、入学定員を合計100名に設定した。また、下記2)(2)「競合校における歴史系学科の志願状況について」に述べる競合校の入学定員（【資料2】）及び、歴史文化学科の基礎となる既設の日本文学科（入学定員150名）、中国文学科（同70名、2016年度までは100名）、英米文学科（同130名）の入学定員も考慮し、設定した。以下に記載する歴史系学科における受験者動向、本学への志願状況等から見ても、入学定員100名の充足は十分に可能であると考えている。

###### 2) 文学部歴史文化学科の定員充足の見込み

###### (1) 文学部の志願者・入学者動向について

本学歴史文化学科を設置する予定である「文学部」について、「私立大学・短期大学等入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）による全国的な「文学部」への志願者・入学者動向から見ると、2012年～2016年における「文学部」の志願者倍率は、8.02倍～8.62倍であり、安定した倍率を保っている。また、入学定員充足率は107.13%～110.22%であり、いずれの年においても100%を超えた入学者を確保している（【資料1】）。

###### (2) 競合校における歴史系学科の志願状況について

歴史系学科を設置する競合大学の直近5年間（2012年～2016年）の志願状況は【資料2】の通りである。5大学の大学ごとの平均志願倍率は7.22倍～16.21倍と高倍率である。大学別に見ると、直近2016年の志願倍率が最も高い大学は16.66倍（駒澤大学）、最も低い大学においても8.88倍（大正大学）の志願倍率があり、各大学とも年による変動が少ない。このことから、本学近隣地域、同規模の歴史系学科は安定した長期的志願者確保ができていると考えられる。

なお、競合校については、①学科キャンパス所在地、②同分野の学科規模（入学定員）、③学生納付金、をベンチマークとして本学の状況と比較し、選定した。

### (3) 本学全体の志願状況及び入学定員充足率について

本学への入学者は、6割ほどが埼玉県・東京都出身で（2016年度計58.4%）、次いで関東・中部地方出身者が多い（【資料3】）。入学者全体の約64.8%が埼玉県・東京都に千葉県・神奈川県を加えた南関東地域出身の学生である。この南関東4都県は、出生率低下による人口減少を上回る転入超過（都市部への集住化）がみられ、総人口が増大し続けている地域である（【資料4】）。また、同地域の18歳人口についても、文部科学省の学校基本調査から推定して2017年現在までは微増傾向にある（【資料5】）。10年後の2027年における18歳人口は2016年比で95%程度を維持する見通しであり、全国平均の87.6%に比べて比較的優位な条件にあり（【資料6】）、本学の学生出身地の人口基盤は強固であると言える。

また、本学大学全体の直近5年間（2012年～2016年）の志願状況及び定員充足率は【資料7】の通りであり、各学部の5年間の平均志願倍率は4.01倍～10.37倍、大学全体の年ごとの平均志願倍率は6.27倍～7.05倍である。いずれも安定した倍率であり、また、入学定員充足率においても概ね1.1倍を保っており、定員未充足の学部はない。このことから、本学への安定した志願者の確保が見込まれる。

なお、現在、埼玉県内には歴史系学科を有する大学がなく、このことも埼玉県内における受験生の受け入れという点において有利であると思われる。

### (4) 既設学部（文学部）の志願動向及び定員充足率について

歴史文化学科を設置する文学部（日本文学科、中国文学科、英米文学科、教育学科、書道学科）の直近5年間（2012年～2016年）の志願者数は3,200人～3,700人程度を維持している。志願倍率は学科により差はあるが、5学科の学科別平均志願倍率は2.73倍～10.25倍で、安定的な競争力を保っているといえる（【資料8】）。歴史文化学科は日本文学科のカリキュラム体系や入試方式に近いことから、志願倍率も同レベルを確保できると考える。

また、文学部の直近5年間の入学定員充足状況は、学部全体としては概ね1.1倍の定員充足がある（【資料7】）。前述のとおり、歴史文化学科は日本文学科と近似している点があることを鑑みれば、十分に定員を充足できると考えられる。2014年、2015年と定員未充足であった中国文学科についても2016年には定員を充足しており、2017年度から実際の教育内容により即した名称である中国文学科に名称変更をする（2016年度までの学科名称は「中国学科」）のと同時に、入学定員を100名から70名に引き下げることにより、今後も定員未充足の心配はないと考えている。

### (5) 文学部歴史文化学科設置に関する進学意向調査結果について

外部機関（株）リクルートマーケティングパートナーズに依頼し、本学への進学実績のある高校で、高校訪問（「②学生確保に向けた具体的な取組状況 3.高校訪問の展開」P13記載）を通じて高校進路指導教諭と直接面識のある高校や、高校進路指導教諭向けに実施した本学独自進学説明会の参加高校など、特に本学との関係性の強い東京都、埼玉県を中心とした全国147校に在籍する、開設年度入学生31,408人（調査実施時高校2年生）を対象に、新設学部学科進学に関する意向調

査を実施した（【資料 9】～【資料 10】）。その結果、高校卒業後に進学を希望する（大学、短期大学、専門学校・各種学校）者のうち、本学歴史文化学科に「非常に興味を感じる」「興味を感じる」と回答した者は 6,194 人（【資料 9】 P12 問 6）、受験し合格をした場合「進学を希望する」「進学先の候補として検討する」と回答した者は 2,537 人であった（【資料 9】 P16 問 9）。これを高校卒業後の進路で「大学」を希望し、本学歴史文化学科に「受験してみたい」「受験を検討したい」と回答をした者のうち、合格した場合「進学を希望する」という現時点で進学希望の明確な回答に絞った場合でも 289 人であった（【資料 9】 P18）。これは本学歴史文化学科の入学定員 100 名を大きく上回る結果となっており、この点においても本学歴史文化学科の入学者確保は十分に可能であると考えられる。

上記 2) (1)において「文学部」への全国的な需要、(2)から近隣地域における歴史系学科の需要が見込まれ、また、本学への入学希望という点においては、(3)～(4)で示した大学全体及び歴史文化学科を設置する文学部の志願状況から、歴史文化学科への入学希望の点においては、(5)進学意向調査の結果から、本学歴史文化学科の学生確保の見通しは十分にあると考えられる。

## イ. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

### 【資料 1】 文学部の志願者・入学者動向

「私立大学・短期大学等入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）の平成 24（2012）年度～平成 28（2016）年度「5. 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）」から「文学部」の状況を抜粋して作成した。なお、志願倍率は、志願者数を入学定員で除し、小数点第 3 位で四捨五入して算出した。

2012 年～2016 年における「文学部」の志願倍率は、2012 年 8.62 倍、2013 年 8.43 倍、2014 年 8.02 倍、2015 年 8.17 倍、2016 年 8.38 倍であり、いずれの年も高い倍率を保っている。また、入学定員充足率は、2012 年 110.22%、2013 年 109.30%、2014 年 107.13%、2015 年 108.16%、2016 年 108.52%で安定した入学者を確保している。

### 【資料 2】 競合校（歴史系学科）における志願状況等

文学部歴史文化学科の競合校の直近 5 年間（2012 年～2016 年）の志願状況等について、各大学ホームページ、(株)リクルートマーケティングパートナーズの提供資料より作成した。志願倍率は、志願者数を募集人数で除して算出、大学ごとの平均志願倍率は、大学ごとの各年の志願倍率を年数で除して算出、各年における平均志願倍率は、各年の志願者数の和を募集人数の和で除して算出した（いずれも小数点第 3 位を四捨五入）。また、東洋大学の 2013 年、2014 年の募集人数は非公表のため、当該年の募集人数、志願倍率は記載していない。また、当該年の募集人数合計及び志願倍率は、東洋大学を除いた数値で算出、東洋大学の平均志願倍率は当該

年を除いた数値で算出した。

競合校 5 大学の大学ごとの平均志願倍率は、16.21 倍（東洋大学）、15.40 倍（駒沢大学）、9.01 倍（立正大学）、9.10 倍（国士舘大学）、7.22 倍（大正大学）と、いずれも高い倍率である。年別に 5 大学の平均を見ると、2012 年 11.66 倍、2013 年 13.12 倍、2014 年 12.90 倍、2015 年 10.47 倍、2016 年 11.85 倍であり、各大学とも年による変動が少ないことが分かる。

なお、競合校としては、①学科キャンパス所在地、②同分野の学科規模（入学定員）、③学生納付金、をベンチマークとして、本学の状況と比較し選定した。

### 【資料 3】 本学 2016 年度入学者の出身地（出身高校の所在地）構成

本学 2016 年度入学者の出身地（出身高校の所在地）について、本学ホームページ「データで知る大東文化」「都道府県別入学者数」（2016 年 5 月 1 日現在）より作成した。

入学者 2,988 人のうち、埼玉県出身者が 1,225 人（41.0%）、東京都出身者が 520 人（17.4%）、両都県で計 1,745 人（58.4%）であり、全体の 6 割ほどを占める。千葉県 150 人（5.0%）、群馬県 128 人（4.3%）、新潟県 121 人（4.0%）がそれに続き、関東、中部地方の出身者が多い。

（本学ホームページ：<http://www.daito.ac.jp/information/open/college/data.html>）

### 【資料 4】 南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）人口の推移

南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）の人口推移を示したグラフであり、埼玉県提供「都道府県別自然増社会増見える化ツール」をもとに作成した。

ここから、この地域の総人口が増大し続けていることが分かる。

（埼玉県ホームページ：

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/toukei-tool/shizensyakai-tool.html>）

### 【資料 5】 南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）における 18 歳人口の推移

南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）の 18 歳人口について、文部科学省「学校基本調査」をもとに、当該年の 3 年前の中学校卒業生総数をもって、18 歳人口の近似値として推計した。ここから、この地域の 18 歳人口については、2017 年現在までは微増傾向にあり、その後も大きな変動はないと推定される。

（文部科学省学校基本調査：

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/NewList.do?tid=000001011528>）

### 【資料 6】 18 歳人口変動の将来推計：全国 VS 南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）

18 歳人口変動の将来推計について、全国と南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）を比較したものであり、リクルート進学総研マーケットリポート Vol.37

(2017年1月号)をもとに作成した。10年後(2027年)における18歳人口は、全国平均が2016年比87.6%である一方、南関東は同年比95%を維持する見通しである。

## 【資料7】 大学全体における学部別志願状況及び入学定員充足率

[大学全体における学部別志願状況及び入学定員充足率]

本学大学全体の直近5年間(2012年～2016年)における学部別志願倍率及び定員充足率を記載した。なお、志願倍率は、志願者数を入学定員で除して算出、学部ごとの平均志願倍率は、学部ごとに各年の志願倍率を年数で除して算出、各年における平均志願倍率は、各年の大学全体の志願者数を大学全体の入学定員で除して算出した。入学定員充足率は、入学者数を入学定員で除し算出、学部ごとの平均入学定員充足率は、学部ごとに各年の入学定員充足率を年数で除して算出、各年における平均入学定員充足率は、各年の大学全体の入学者数を大学全体の入学定員で除して算出した(いずれも小数点第3位を四捨五入)。

各学部の直近5年間の平均志願倍率は、文学部 6.44 倍、経済学部 8.02 倍、外国語学部 4.39 倍、法学部 6.09 倍、国際関係学部 6.17 倍、経営学部 7.79 倍、環境創造学部 4.01 倍、スポーツ・健康科学部 10.37 倍である。これを年で見ると、大学全体で、2012年 6.52 倍、2013年 6.54 倍、2014年 6.27 倍、2015年 6.67 倍、2016年 7.05 倍であり、いずれも安定した志願倍率である。

入学定員充足率においては、学部ごとの平均は、文学部 1.16 倍、経済学部 1.14 倍、外国語学部 1.10 倍、法学部 1.15 倍、国際関係学部 1.15 倍、経営学部 1.14 倍、環境創造学部 1.14 倍、スポーツ・健康科学部 1.18 倍であり、年では大学全体で、2012年 1.19 倍、2013年 1.09 倍、2014年 1.15 倍、2015年 1.13 倍、2016年 1.15 倍と概ね 1.1 倍を保っている。

## 【資料8】 文学部(日本文学科、中国文学科、英米文学科、教育学科、書道学科)の志願状況及び入学定員充足率

歴史文化学科を設置する本学文学部の既設学科の学科別志願状況及び定員充足率を記載した。なお、志願倍率は、志願者数を入学定員で除して算出、学科ごとの平均志願倍率は、学科ごとの各年の志願倍率を年数で除して算出、各年における平均志願倍率は、各年の志願者数の和を入学定員の和で除して算出した。入学定員充足率は、入学者数を入学定員で除して算出、学科ごとの平均入学定員充足率は、学科ごとの各年の入学定員充足率を年数で除して算出、各年における平均入学定員充足率は、各年の入学者数の和を入学定員の和で除して算出した(いずれも小数点第3位を四捨五入)。

文学部既設5学科の5年間平均志願倍率は、日本文学科 8.31 倍、中国文学科 2.73 倍、英米文学科 5.40 倍、教育学科 10.25 倍、書道学科 3.23 倍で、これを年で見ると

と、2012年 6.70倍、2013年 6.82倍、2014年 5.83倍、2015年 6.68倍、2016年 6.19倍であり、安定的な競争力を保っているといえる。

入学定員充足率においては、5年間平均として、日本文学科 1.21倍、中国文学科 1.01倍、英米文学科 1.20倍、教育学科 1.18倍、書道学科 1.16倍で、年ごとの平均は、2012年 1.26倍、2013年 1.13倍、2014年 1.15倍、2015年 1.08倍、2016年 1.18倍となっている。

## 【資料 9】 文学部歴史文化学科設置に関する進学意向調査結果

(株) リクルートマーケティングパートナーズに調査を依頼した。調査実施の概要は以下の通りである。

調査時期： 2016年9月～2017年1月

調査対象： 本学に進学実績のある高校で、高校訪問を通じて高校進路指導担当教諭と直接面識のある高校や高校進路指導担当教諭向けに実施した本学独自進学説明会の参加高校など、特に本学との関係性の強い東京都、埼玉県を中心とした全国 147校（高校名、高校所在地は資料 P20 に記載）在籍する開設年度入学生 31,408人（調査実施時において高校 2年生）

回答数： 140校 計 24,400人（回収率 77.7%）

調査内容・回答： 本学は、2018年度に歴史文化学科、社会学部社会学科、看護学科を同時に設置予定のため、調査内容・回答も 3学部学科について記載してある。

### 〔文学部歴史文化学科〕

本学歴史文化学科に「非常に興味を感じる」「興味を感じる」と回答をした者は 6,194人（P12）、受験し合格した場合、「進学を希望する」「進学先の候補として検討する」と回答した者は 2,537人であった（P16）。

これを対象者として「高校 2年生」（問 3）でかつ「大学進学志願者」（問 4）に絞り、そのうち「受験をしてみたい」「受験を検討したい」（問 7）を選択し、かつ「進学を希望する」「進学先の候補として検討する」（問 8）、歴史文化学科志望者（問 9）とした場合、983人であった（P17）。

さらに、「高校 2年生」かつ「大学進学希望者」のうち、「受験をしてみたい」「受験を検討したい」を選択し、かつ「進学を希望する」歴史文化学科志望者とした場合でも 289人（P18）おり、本学歴史文化学科の入学定員 100名を大きく上回る結果となっている。

## 【資料 10】 進学意向調査で使用した調査用紙（高校向け）及び回答時の参考資料リーフレット

【資料 9】で使用した調査用紙（高校向け）及び、回答時の参考資料としたリーフ

レットである。なお、調査実施時においては、学会について歴史文化学科、社会学科とも検討中であったため、調査用紙の【参考資料】欄には学会費が含まれていないが、その後学会の設置及び学会費（両学科とも 8,000 円）が決定したので、「初年次納付金」及び「その他」にそれぞれ 8,000 円が加算される。

## ② 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けて、本学が行っている取組状況については以下の通りである。

### 1. 入試アドバイザー制度の導入

全専任事務職員を2種類の入試アドバイザーとして位置づけている。一つは本学への進学実績の多い高校を中心に高校訪問を行い、進路指導教諭との情報交換などを業務内容とする進路指導教諭担当アドバイザーである。もう一つは、板橋・東松山両キャンパスで行われるオープンキャンパスに設置されるイベントの一つである、個別相談ブースでの対応を業務内容とするオープンキャンパス担当アドバイザーである。

年度当初には、職員の所属部署にかかわらず、業界動向や入試制度、学生生活、キャリア支援など、広範囲にわたる全学的な説明会を開催し、志願者等への対応が適切にできるよう指導している。特に、新人職員には人事研修の一環として徹底した事前研修を実施しており、大学人としての基礎を養成し、即戦力として活用している。

### 2. オープンキャンパスの実施

毎年、板橋・東松山の両キャンパスにおいて、オープンキャンパスを実施している。具体的な内容としては、大学の沿革や取組の紹介、入試制度の解説、教員による学科別の体験授業、学科教員・入試アドバイザーとの個別相談、国際交流センター職員や留学経験者によるグローバル化に特化したイベント、キャンパス内を実際に歩くことにより大学の雰囲気を感じてもらえるキャンパスツアー、本学学生とのフリートークなどである。また、今年度においては、マスコミで取り上げられた教員の社会活動や研究内容を紹介する企画を開催して認知を高めた。さらに、推薦入試受験対策相談会、一般入試受験対策相談会を企画し、入試の傾向と対策講座を開催して受験生の支援に取り組んだ。いずれも高校生からは一定の評価を得ており、2016年度は受験対策相談会、オープンキャンパスを全7回実施し、計9,029名（高校生：6,339名、保護者：2,673名、教員：17名）の参加があった。

オープンキャンパスの実施においては、在学生在が学生スタッフとして中心的な役割を果たしている。学生スタッフに対しては接客マナー、説明力の強化、プログラムの企画・マネジメントになど、様々な研修会を実施しており、こうした機会を通して高い水準で来場者対応を担えるスタッフの養成につながっている。本学のオープンキャンパスでは来場者へのアンケートを行っており、集計結果や寄せられるコメントから、学生スタッフの対応が特に好評を得ていることが分かる。



### 3. 高校訪問の展開

上記1.で述べた入試アドバイザー（進路指導教諭担当）がそれぞれの担当校を訪問し、本学の入試制度をはじめとした詳細な説明を行っている。高校ごとに同一の担当者が繰り返し説明することにより、各高校との信頼関係を築くことができている。現在、東京都・埼玉県を中心に志願者が多く関係性の強い107校について個別の入試アドバイザーを配置しており、それ以外の東海・北陸以東のエリア349校にも入試広報課員が適宜個別に訪問し、本学の情報を提供するとともに、各高校や地域の進学事情などに関する情報収集を精力的に行っている（2016年度実績〔2017年2月末時点、以下同じ〕）。

また、入試アドバイザーや入試広報課員以外にも、各学科において担当教員がそれぞれの学科の事情に即した高校訪問を個別に行っており、その数は96校に達している。年間を通じて訪問した高校数は、延べ753校であった。

### 4. 進学相談会、キャンパス見学会の実施

予備校、塾を含む各会場で行われる大学合同進学相談会（2016年度実績69会場）や、各高校の進学ガイダンス（2016年度実績189校）において、積極的な募集活動を行っている。特に、各高校での校内ガイダンスについては、進学指導が早期化しているもあり、低学年を対象として大学の紹介、入試概要の説明、学問分野別の解説など、具体的で分かりやすい内容が求められているため、従来の講義型よりも動画や図表を用いて視覚的に理解しやすいように資料を工夫するなど、高校側の進路指導に寄与するよう配慮している。また、高校を会場とした模擬授業（2016年度実績54校）への本学教員の派遣、本学の一般入試受験を念頭においた入試直前講座（2016年度実績8校）を別途開催しており、東京都・埼玉県からの高校からは毎年多くの要請がある。最近は千葉県、群馬県の高校にも拡大している。

高校生及び高校PTAのキャンパス見学会については、要望に応じて随時実施している（2016年度実績42校）。2.で記述した学生スタッフが学内の案内などを担当しており、特に保護者から高い評価を受けている。また、年間を通して、個人的な見学・進学相談を受け付ける窓口も設けている。

### 5. 広報媒体の活用

広報活動の媒体としては、大学ホームページ、大学ポータル、大学独自の広報冊子、各種広報媒体（テレビ、ラジオ、WEB動画配信、看板等）を活用している。大学ホームページについては、大幅なリニューアルを行い、パソコン用ページでしか閲覧できなかったものを、スマートフォンでの閲覧にも最適となるよう環境を整備した。また、合格者向けサイトについても全面リニューアルを行い、合格者の手続き率向上のための対策を図った。昨今は、インターネット出願と親和性が高い、効果測定が容易なバナー広告などウェブ媒体により力を注いでおり、これまで以上にフレキシブルな広告展開を実現している。また、本学の話題を取り上げてもらうべく、マスコミに対するプレスリリースも積極的に配信している。

昨年度より、キャンパス沿線の東武東上線、都営三田線の大学最寄り駅に、本学のロゴマークを含む大学名称が副駅名として掲出されており、車内放送でも大学名が放送されるなど、地域に密着した大学としての更なる認知度の向上を図っている。

## 6. ブランド認知の取組

本学にコンタクトのあった高校生、保護者などへのオリジナルグッズの配布やオープンキャンパス時の施設見学を通して、本学附設のビアトリクス・ポター資料館の紹介を行い、本学への親近感を高めている。また、書道研究所主催の「高校生のための書道講座」開催時には、参加した高校生と保護者向けに進学相談の機会を設けている。さらに、高校生を対象とした英語スピーチコンテスト、全国高校生翻訳コンテスト、全国高校新聞コンクールを毎年開催し自己表現の場を提供すると同時に、本学への認知度向上を心掛けている。一方、大学スポーツにおける本学学生の活躍を積極的に応援する体制を作り、学内外に広く周知するとともに、特に高校生アスリートや指導者に好印象となるよう雰囲気作りにも工夫している。卒業生や在学生の保護者向けに「大東文化新聞」を年複数回発行し、学内外に大学の動きをアピールしている。志願者の多い高校、学生の就職先企業及び関係機関に対して本学オリジナル書道カレンダー及びピーターラビット・カレンダーを製作・配布し、本学の認知度向上を図っている。

## 7. 受験の利便性向上の取組

本学では一昨年度より全面的なインターネット出願に移行し、併せて入学検定料の割引制度を導入することにより、受験生の出願手続の利便性向上や受験経費に係る負担の軽減を図った。また国公立大学前期日程の併願受験を考慮した入学手続延納制度を採り入れ、地元志向の受験生に配慮している。さらに、経済的理由により進学が困難な受験生に対する入学前の予約型奨学金制度を導入している。これは、出身地域・評定基準を出願時の要件としておらず、家計基準が満たされていれば、当日の試験の成績により奨学金が受けられるという独自の制度であり、受験生の本学への進学意欲を受験本番まで維持し、進学率を高める狙いがある。

## 8. 学部外国人留学生募集の取組

学部外国人留学生の募集においては、日本学生支援機構（JASSO）が毎年7月に主催する日本留学フェアに参加し、2016年度は57名の留学生に対して、本学における日本語教育の在り方や専門的な学び、留学生に特化した就職支援体制について直接説明をする機会を設けることができた。また、日本語学校等が主催する進学相談会についても、2016年度は21会場へ本学教職員を積極的に派遣した。さらには、本学将来基本計画「DAITO VISION 2023」の中で「国際的な学芸・教育のネットワークの拠点となり、世界に向けて発信する」という目標項目を掲げており、その具体的施策「日本語学校との連携を強化する」に基づき、2016年度には日本語学校25校を訪問するなど、日本語学校関係者とのネットワークをより一層強化する取り組みを進めている。加えて、日本語学

校との新たな取り組みとして、2016年度より首都圏にある日本語学校8校で構成されている日本語学校コンソーシアムとの連携を開始し、優秀な留学生の獲得に注力している。そのほか、海外の日本語学校や協定校との指定校制度（渡日前入学制度）にも着手している。

#### 9. 募集活動等の検証

資料請求者、進学説明会参加者などの本学へのコンタクトについて、アンケート調査やその後の動きをフォローしながら動向を分析し、広報効果測定をおこない、広報媒体の選定を検証するなど、広報活動を総合的に点検・評価している。また、予備校の模試受験者の志望アンケートの動向分析、本学入試の志願者分析等から、次年度以降の入試制度の見直しを行っている。

以上、学生確保に向けた様々な組織的取り組みについては、今後一層のレベルアップを図りながら継続していく。

## (2) 人材需要の動向等社会の要請

### ① 文学部歴史文化学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学は「東西文化の融合」を建学の精神として、1923年に前身の大東文化学院が開学して以来、具体的な文化としては東洋を中心に教育・研究を重ねてきたが、西洋文化も含む歴史分野において、それを追求できる専門学科を擁してこなかった。しかし本来、世界の歴史・文化を理解しなければ、日本のその本当の理解もかなわないはずである。そこで今回、建学以来の文学部を中心とするこれまでの関連領域の94年間の蓄積の上に立って、歴史分野においても社会的需要に応えようとするものである。

また、本学は最寄り駅の東武東上線高坂駅と東武練馬駅から、それぞれスクールバス10分程度の距離にある埼玉県東松山市と東京都板橋区にキャンパスを有しているが、ちょうどその中間に位置する埼玉県の川越市を始めとして、周辺には歴史文化に根ざした観光地を数多く抱えている。しかし、これまでこうした観光地と歴史学との連携はほとんど取られてこなかった。そこで今回、それぞれの観光地を対象に歴史学と観光学を融合した教育研究を行い、この2分野間の橋渡しをすることで地域社会に貢献しようとする。

このような新たな試みをするためには、学問上の確かな礎に立つ必要がある。その要となるのが、やはり東西文化と観光歴史学の間立つ日本史である。日本全体の歴史理解を踏まえなければ、広く世界や日本の各地域の理解もできないからである。元々、日本史を中心とする歴史分野は、恒常的に一定の進学希望者が見込める分野だが、グローバル化と観光立国化が進む昨今の社会的状況を十分に踏まえて、日本史を中心に東西文化と観光歴史学の領域と連携した、歴史文化学科を文学部に設置するものである。

歴史文化学科の養成する人材像及び教育研究上の目的は以下の通りである。

#### ア 教育研究上の目的

歴史・文化に関する学識を修め、世界の中の日本を自覚し、多様な現代社会に対応できる能力を有する人材の養成を目的とする。

#### イ ディプロマ・ポリシー

1. 人文分野を始めとして、社会・自然分野に及ぶ確かな知性と鋭い感性を備えた、豊かな人間性を陶冶することができる。
2. 世界、日本、地域の歴史・文化に関する豊富な学識を修め、歴史的思考力を縦横に駆使して、それを行動の拠り所とすることができる。
3. 現代の多様な課題の発見・解決に主体的に取り組み、歴史文化学科で修得した専門性を総合して、新たな価値の創造に柔軟に活かすことができる。
4. 国際化が進む社会において、異なる立場にある者とも相互理解の上に立って、十分なコミュニケーションを取りながら、協働することができる。

### ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

選択必修科目である「観光歴史学実習」の実習候補地である川越市は、「川越氷川祭の山車行事」

がユネスコ無形文化遺産に登録されたことも含め、近年観光スポットとして注目を浴びており、観光客数も30年前と比して3倍以上、近年もその数は増えている【資料11】。歴史文化学科の設置構想にあたり、文学部長（当時）と歴史文化学科担当教員が、川越市副市長（当時）及び担当部署と、市と大学との連携について協議を行い（2015年3月）、今後も継続して協議をする予定である。このことから、歴史文化学科の設置は、地域的な動向を踏まえたものであると言える。

また、①-1に記載した通り、グローバル化の進展に伴い、歴史文化に対する知識涵養が社会的に必要とされている。①-1で記載した教育研究上の目的及び、それを実現するための教育課程の編成の考え方の一つである「語学科目を中心とした基礎教育科目で、国際社会に通用する国際感覚を身につけるとともに、専門教育の基礎となる多様な一般的語学力を身につけ、多様な現代社会の諸問題に対応できるように、学科の枠を超えた全学共通科目で、人文・社会・自然諸科学にわたる幅広い教養の形成をはかる」ことは、日本経済団体連合会「今後の教育改革に関する基本的考え方-第3期教育振興基本計画の策定に向けて-」に記載「これからの時代に求められる素質、能力の「自らの問題意識に基づき、課題を設定し、他者に正解を求めず、主体的に解を見出す能力、自らの意見を論理的に発信する力、外国語によるコミュニケーション能力、幅広い教養（リベラル・アーツ）、多様性を尊重し、社会や文化的背景の異なる人々と協働して事業を遂行する能力」とも合致するものである（【資料12】）。

歴史文化学科の卒業後の進路としては、一般企業の他に、「観光歴史学」という学修内容や資格取得支援を行う国内旅行業務取扱管理者資格を活かした旅行代理店を初めとする観光業、文学部と歴史関連学科という強みを活かした出版業、中学校（社会）・高等学校（地理歴史）教員免許状や学芸員の資格を活かした中学・高校の教員、教育・学習支援業、博物館の職員、図書館・学校図書室の職員等、特にこれからのグローバル化に即し、また専門的知識が必要とされる学修内容を活かした進路を想定している。

また、外部機関（株）リクルートマーケティングパートナーズに依頼し、2017年に学内で行う就職セミナーに参加を依頼した企業に対して、採用意向調査を実施した。歴史文化学科で学んだ学生の新卒採用について、「採用したい」「採用を検討したい」と回答をした回答数は104社（77.1%）（【資料13】 P10 問6、【資料14】）、具体的な総採用人数については、少なく見積もっても190人（【資料13】 P11 問7、【資料14】）あり、歴史文化学科の定員数100名を上回る。

これらのことから、歴史文化学科の養成する人材、教育研究上の目的は、社会的な人材需要に沿ったものであると考えられる。

### ③ 資料の概要

【資料11】 「川越市入込観光客数の推移」川越市ホームページより  
(<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/welcome/kankobenrijoho/kankotokeishiryoy/irikomi.html>)

【資料12】 「今後の教育改革に関する基本的考え方-第3期教育振興基本計画の策定に向けて-」  
(日本経済団体連合会 2016年4月19日)より

- 【資料 13】 文学部歴史文化学科、社会学部社会学科設置に関する採用意向調査結果  
(株)リクルートマーケティングパートナーズに調査を依頼した。調査実施の概要は以下の通りである。
- 〔企業向けアンケート〕
- 調査時期： 2016年10月～2016年11月
- 調査対象： 2017年3月に学内で行う就職セミナーに参加を依頼した企業270社
- 回答数： 135社(回収率50.0%)
- 調査内容・回答： 資料の通り
- 【資料 14】 採用意向調査で使用した調査用紙(企業向け)。また、回答時の参考資料としたリーフレットは、【資料 10】と同一である。

## 学生確保の見通しを記載した書類 資料編目次

- 【資料 1】 文学部の志願者・入学者動向
- 【資料 2】 競合校（歴史系学科）における志願状況等
- 【資料 3】 本学 2016 年度入学者の出身地（出身高校の所在地）構成
- 【資料 4】 南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）人口の推移
- 【資料 5】 南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）における 18 歳人口の推移
- 【資料 6】 18 歳人口変動の将来推計：全国 VS 南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）
- 【資料 7】 大学全体における学部別志願状況及び入学定員充足率
- 【資料 8】 文学部（日本文学科、中国文学科、英米文学科、教育学科、書道学科）の志願状況及び入学定員充足率
- 【資料 9】 文学部歴史文化学科、社会学部社会学科設置に関する進学意向調査結果
- 【資料 10】 進学意向調査で使用した調査用紙（高校向け）及び回答時の参考資料リーフレット
- 【資料 11】 川越市入込観光客数の推移
- 【資料 12】 「今後の教育改革に関する基本的考え方」  
－ 第 3 期教育振興基本計画の策定に向けて－
- 【資料 13】 文学部歴史文化学科、社会学部社会学科設置に関する採用意向調査結果

## 【資料1】

## 文学部の志願者・入学者動向

学部 区分	志願者数（上段:人）／入学定員（下段:人）					志願倍率（倍）					入学者数（上段:人）／入学定員充足率（下段:%）				
	2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016
文学部	297,607	294,203	281,937	283,368	287,498	8.62	8.43	8.02	8.17	8.38	38,052	38,140	37,644	37,536	37,212
	34,525	34,895	35,137	34,703	34,289						110.22	109.30	107.13	108.16	108.52

※「私立大学・短期大学等入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）平成24（2012）年度～平成28（2016）年度「5. 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）」から「文学部」を抜粋



競合校（歴史系学科）における志願状況等

【資料2】

大学	学部学科	募集人数					志願者数					志願倍率					
		2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016	平均
東洋大学	文学部第1部 史学科	100	-	-	133	133	1,764	1,601	1,652	2,150	1,972	17.64	-	-	16.17	14.83	16.21
駒澤大学	文学部 歴史学科	200	200	199	199	193	2,957	3,157	3,099	2,824	3,215	14.79	15.79	15.57	14.19	16.66	15.40
立正大学	文学部 史学科	140	140	140	140	140	1,365	1,429	1,240	1,030	1,244	9.75	10.21	8.86	7.36	8.89	9.01
国土館大学	文学部 史学地理学科	170	170	170	170	170	1,603	1,440	1,684	1,424	1,582	9.43	8.47	9.91	8.38	9.31	9.10
大正大学	文学部 歴史学科	158	158	160	160	160	1,264	1,135	957	969	1,421	8.00	7.18	5.98	6.06	8.88	7.22
全体		768	668	669	802	796	8,953	8,762	8,632	8,397	9,434	11.66	13.12	12.90	10.47	11.85	

注) 東洋大学の2013年、2014年の募集人数は非公表であるため、当該年の募集人数、志願倍率は記載していない。また、当該年の募集人数合計及び志願倍率は、東洋大学を除いた数値で算出、東洋大学の平均志願倍率は当該年を除いた数値で算出した。

※ 競合校としての妥当性に関する資料（学科所在地、学科入学定員、2016年度学生納付金）

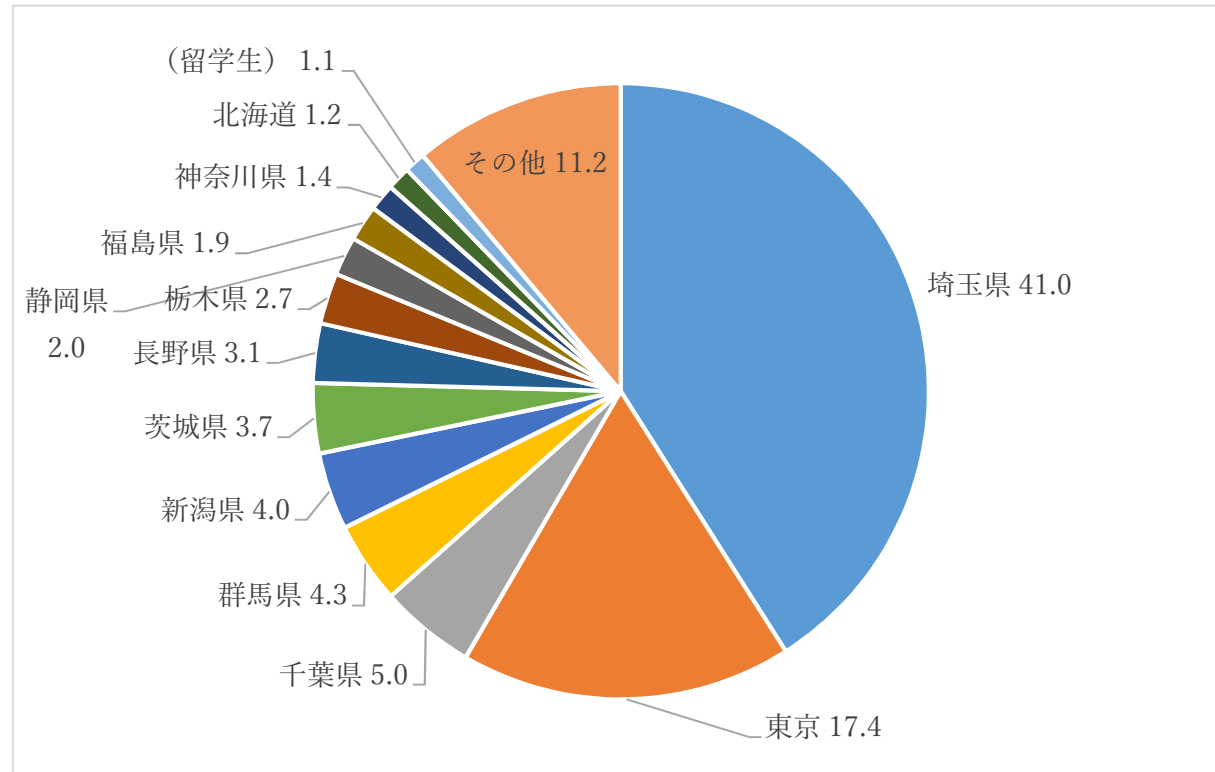
大学	学部学科	学科所在地	学科入学定員	入学金	授業料	その他	初年度納付金
東洋大学	文学部第1部 史学科	東京都文京区	133	250,000円	680,000円	230,000円	1,160,000円
駒澤大学	文学部歴史学科(日本史学・外国史学)	東京都世田谷区	193	200,000円	690,000円	291,000円	1,181,000円
	文学部歴史学科(考古学)			200,000円	690,000円	306,000円	1,196,000円
立正大学	文学部 史学科	東京都品川区	140	283,000円	694,000円	224,000円	1,201,000円
国土館大学	文学部 史学地理学科	東京都世田谷区	170	240,000円	762,000円	304,940円	1,306,940円
大正大学	文学部 歴史学科	東京都豊島区	160	200,000円	700,000円	250,000円	1,150,000円
大東文化大学	文学部 歴史文化学科	東京都板橋区 埼玉県東松山市	100	250,000円	693,000円	271,600円	1,214,600円

注) 国土館大学は考古・日本史学専攻、東洋史学専攻等の金額。

※ 各大学ホームページ、(株)リクルートマーケティングパートナーズの提供資料より

本学 2016 年度入学者の出身地（出身高校の所在地）構成（％）

【資料 3】

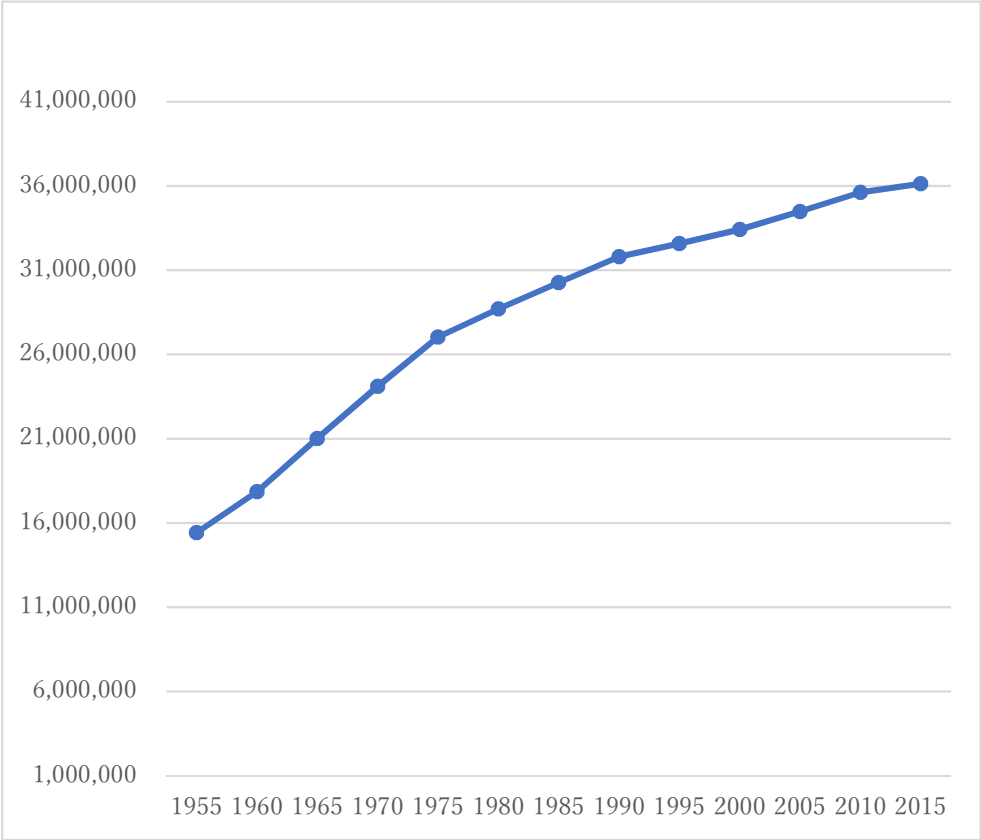


※ 本学ホームページ「データで知る大東文化」の「都道府県別入学者数」より作成

南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）人口の推移

【資料4】

(人)



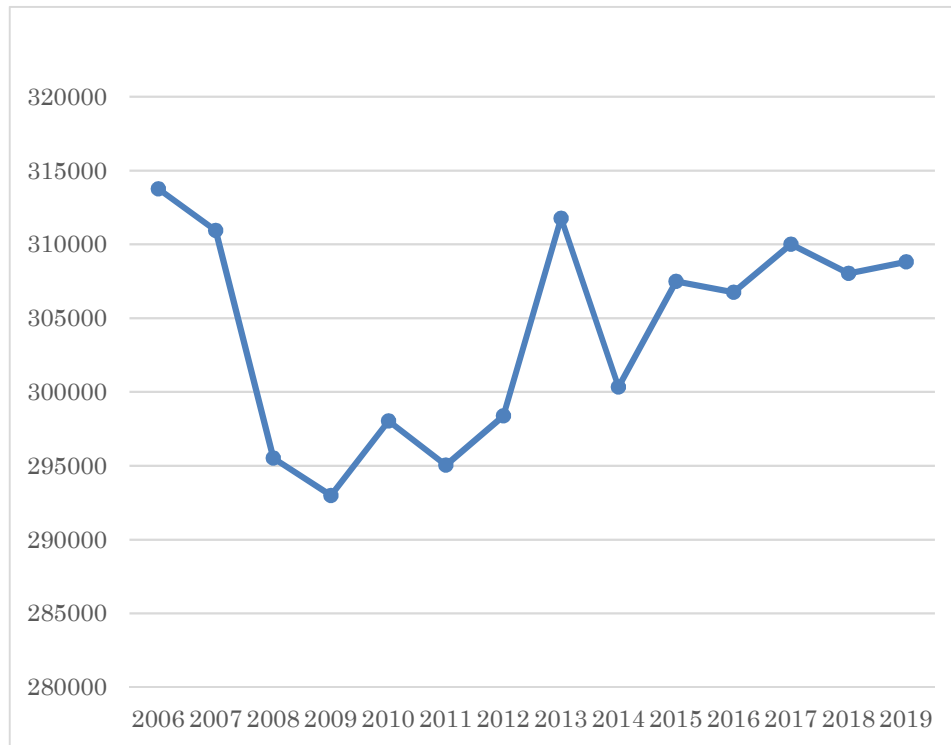
(年)

※ 埼玉県ホームページ「都道府県別自然増社会増見える化ツール」をもとに作成

南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）における18歳人口の推移

【資料5】

(人)

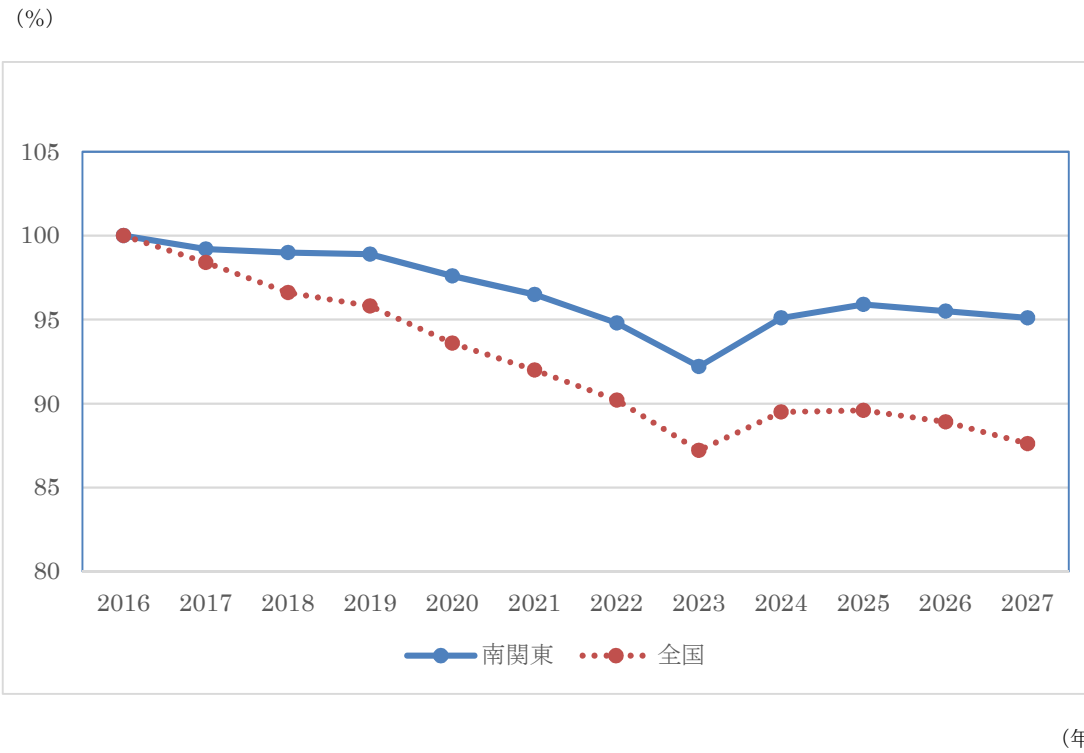


(年)

※ 文部科学省「学校基本調査」をもとに推計

18歳人口変動の将来推計：全国 VS 南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）

【資料6】



※ リクルート進学総研マーケットレポート Vol. 37 (2017年1月号) をもとに作成

【資料 7】大学全体における学部別志願状況及び入学定員充足率

学部名	入学定員	志願者数（人）					志願倍率（倍）					
		2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016	平均
文学部	550	3,683	3,750	3,205	3,675	3,403	6.70	6.82	5.83	6.68	6.19	6.44
経済学部	360	2,768	2,470	2,719	2,923	3,554	7.69	6.86	7.55	8.12	9.87	8.02
外国語学部	390	1,646	1,731	1,545	1,659	1,975	4.22	4.44	3.96	4.25	5.06	4.39
法学部	375	2,206	2,147	2,065	2,359	2,644	5.88	5.73	5.51	6.29	7.05	6.09
国際関係学部	200	1,331	1,052	1,124	1,187	1,471	6.66	5.26	5.62	5.94	7.36	6.17
経営学部	350	2,707	3,113	2,712	2,667	2,440	7.73	8.89	7.75	7.62	6.97	7.79
環境創造学部	165	570	500	750	669	820	3.45	3.03	4.55	4.05	4.97	4.01
スポーツ・健康科学部	200	1,985	2,184	2,111	2,127	1,956	9.93	10.92	10.56	10.64	9.78	10.37
全 体	2,590	16,896	16,947	16,231	17,266	18,263	6.52	6.54	6.27	6.67	7.05	

学部名	入学定員	入学者数（人）					入学定員充足率（倍）					
		2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016	平均
文学部	550	691	624	631	593	650	1.26	1.13	1.15	1.08	1.18	1.16
経済学部	360	412	409	412	420	392	1.14	1.14	1.14	1.17	1.09	1.14
外国語学部	390	438	428	418	432	437	1.12	1.10	1.07	1.11	1.12	1.10
法学部	375	441	386	473	420	432	1.18	1.03	1.26	1.12	1.15	1.15
国際関係学部	200	242	205	234	234	237	1.21	1.03	1.17	1.17	1.19	1.15
経営学部	350	404	389	406	407	394	1.15	1.11	1.16	1.16	1.13	1.14
環境創造学部	165	191	170	184	195	196	1.16	1.03	1.12	1.18	1.19	1.14
スポーツ・健康科学部	200	251	222	225	226	250	1.26	1.11	1.13	1.13	1.25	1.18
全 体	2,590	3,070	2,833	2,983	2,927	2,988	1.19	1.09	1.15	1.13	1.15	

※ 上記入学定員は 2016 年度までの定員。

文学部（日本文学科、中国文学科、英米文学科、教育学科、書道学科）の志願状況及び入学定員充足率 【資料8】

学科名	入学定員	志願者数（人）					志願倍率（倍）					
		2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016	平均
日本文学科	150	1,323	1,304	1,075	1,303	1,229	8.82	8.69	7.17	8.69	8.19	8.31
中国文学科	100	295	281	228	238	324	2.95	2.81	2.28	2.38	3.24	2.73
英米文学科	130	694	725	600	774	714	5.34	5.58	4.62	5.95	5.49	5.40
教育学科	110	1,179	1,240	1,087	1,202	931	10.72	11.27	9.88	10.93	8.46	10.25
書道学科	60	192	200	215	158	205	3.20	3.33	3.58	2.63	3.42	3.23
全 体	550	3,683	3,750	3,205	3,675	3,403	6.70	6.82	5.83	6.68	6.19	

学科名	入学定員	入学者数（人）					入学定員充足率（倍）					
		2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016	平均
日本文学科	150	180	173	202	171	182	1.20	1.15	1.35	1.14	1.21	1.21
中国文学科	100	120	105	80	90	110	1.20	1.05	0.80	0.90	1.10	1.01
英米文学科	130	164	155	157	146	156	1.26	1.19	1.21	1.12	1.20	1.20
教育学科	110	159	123	119	119	131	1.45	1.12	1.08	1.08	1.19	1.18
書道学科	60	68	68	73	67	71	1.13	1.13	1.22	1.12	1.18	1.16
全 体	550	691	624	631	593	650	1.26	1.13	1.15	1.08	1.18	

※ 上記入学定員は2016年度までの定員

※ 「中国文学科」の名称は2016年度まで「中国学科」

< 新学部新学科設置に関するアンケート調査 >  
最終集計結果のご報告  
歴史文化学科・社会学部社会学科 進学意向調査

< 2017/1/11 (水) 時点集計分 >  
高校 ; 140校分 (24,400人)

2017年3月17日

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ  
株式会社リクルートコミュニケーションズ



## 0. はじめに

- 本資料は、2017/1/11（木）時点におけるアンケート回収・集計結果をまとめた報告書となります。
- アンケートの回収状況は、77.7%となっております。  
（詳細については次頁以降参照）
- 最終的な集計結果は以下のようになっております。需要性という観点においては十分な量の「進学意向」が確保されました。

	定員数（予定）	「非常に興味を感じる」、 「興味を感じる」と 答えた高校生	「進学したい」と 答えた高校生
歴史文化学科	100人	6,194人	2,537人
社会学科	200人	5,486人	2,105人

<はじめに>

アンケート発送枚数・回収（集計）済み枚数

<アンケート発送枚数・回収（集計）済み枚数>

(1/11 (木) 時点回収分までを集計)

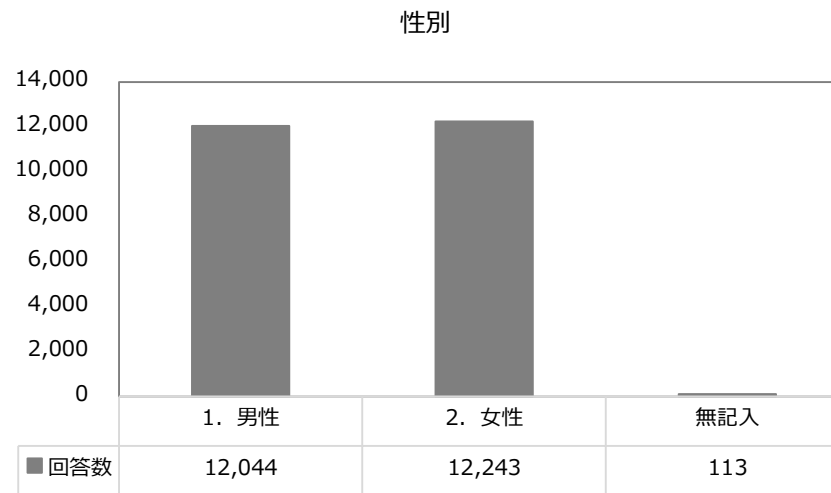
	アンケート発送枚数	回収（集計）済み枚数	回収率（%）
高校	31,408人 (147校)	24,400人 (140校)	77.7%

## 1. 高校向けアンケート 集計結果

女子が僅かに多く、男子12,044人 (49.4%)、女子12,243人 (50.2%)、不明113人 (0.5%)

問1. あなたの性別についておたずねします。

	回答数	比率
1. 男性	12,044	49.4%
2. 女性	12,243	50.2%
無記入	113	0.5%
合計	24,400	100.0%



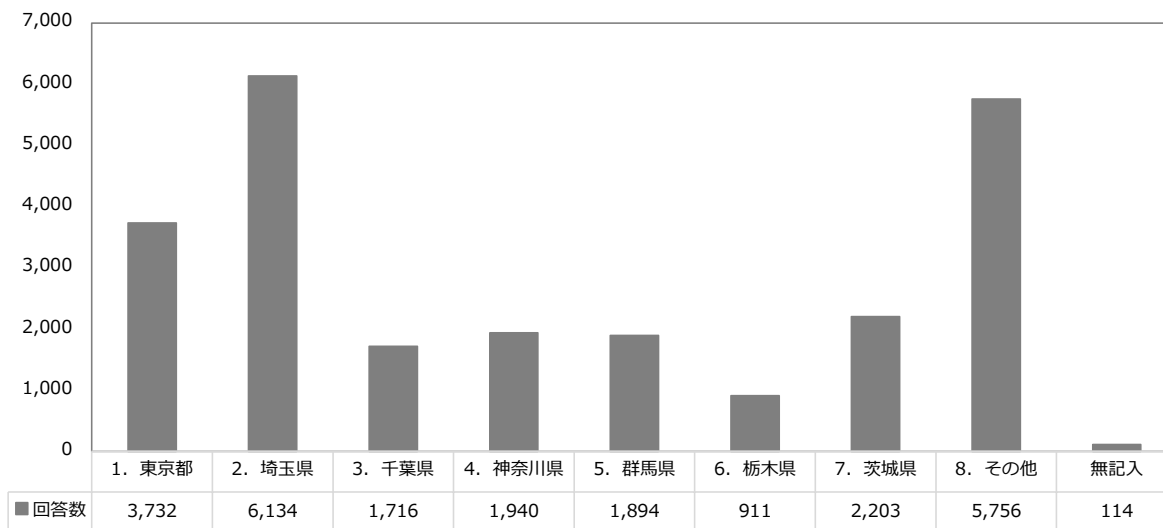
※無記入には、選択肢に無い番号なども含まれます

埼玉県 (6,134人)、次いで東京都 (3,732人) からの回答が多い

問2. あなたのお住まいの都道府県はどちらですか。

	回答数	比率
1. 東京都	3,732	15.3%
2. 埼玉県	6,134	25.1%
3. 千葉県	1,716	7.0%
4. 神奈川県	1,940	8.0%
5. 群馬県	1,894	7.8%
6. 栃木県	911	3.7%
7. 茨城県	2,203	9.0%
8. その他	5,756	23.6%
無記入	114	0.5%
合計	24,400	100.0%

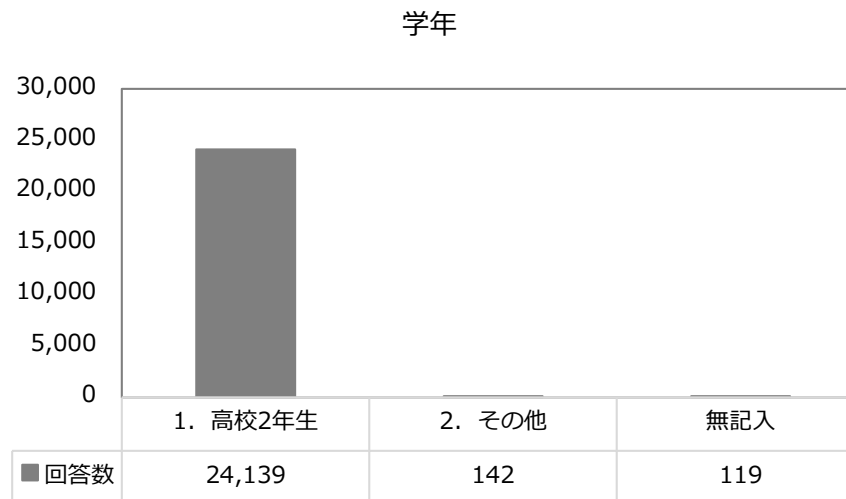
在住都道府県



本アンケートの対象は高校2年生であり、24,139人分の回答が集まった

問3. あなたの学年についておたずねします。

	回答数	比率
1. 高校2年生	24,139	98.9%
2. その他	142	0.6%
無記入	119	0.5%
合計	24,400	100.0%

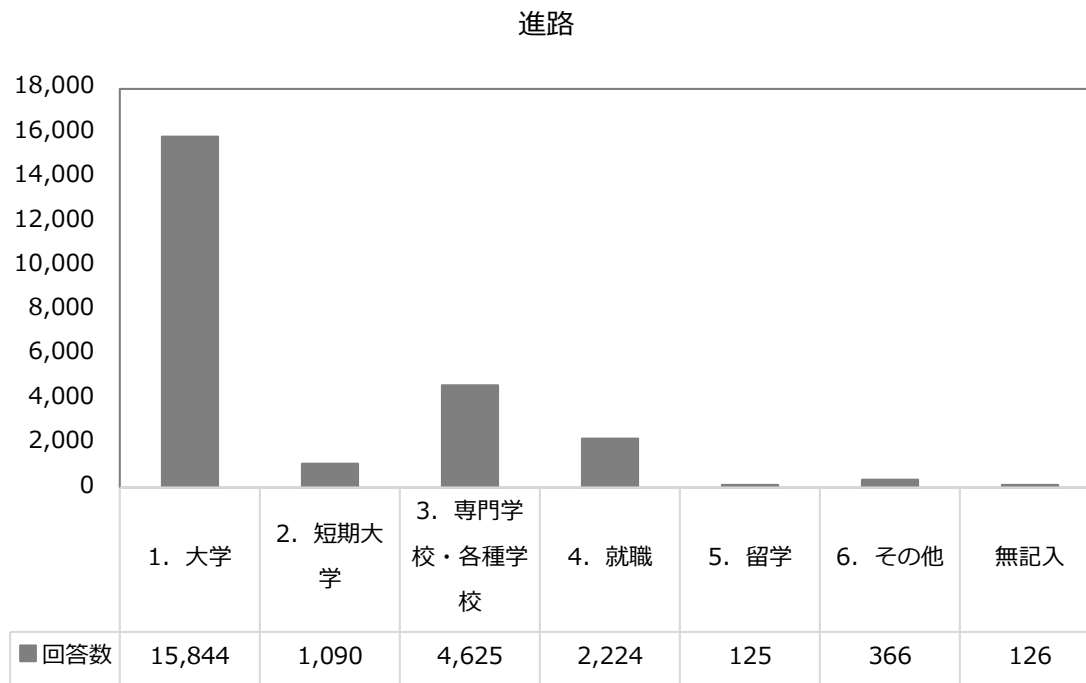


大学進学志望者が15,844人と最も多い

問4. あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を1つだけ選んでください。

	回答数	比率
1. 大学	15,844	64.9%
2. 短期大学	1,090	4.5%
3. 専門学校・各種学校	4,625	19.0%
4. 就職	2,224	9.1%
5. 留学	125	0.5%
6. その他	366	1.5%
無記入	126	0.5%
合計	24,400	100.0%





第1希望では「教育・保育・福祉学」と「経済・経営・商学」が上位2分野となっている

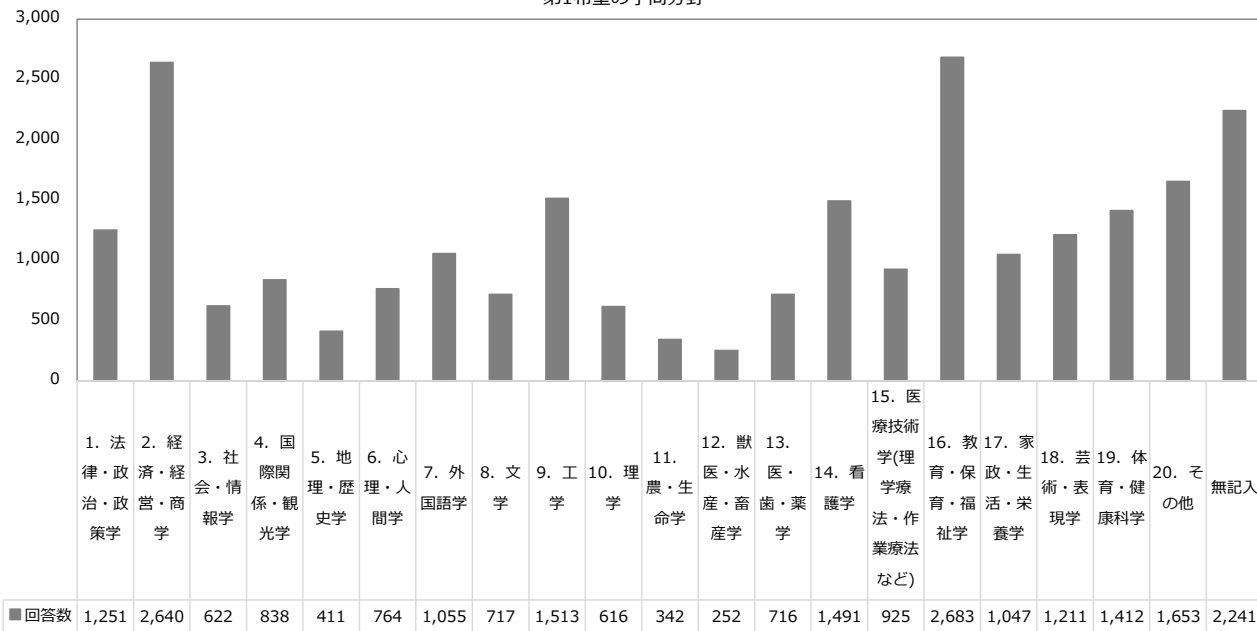
問5. あなたが進学したいと考えている学問分野はどれですか。次の中から第3希望まで選んでください。

※卒業後の進路として、現時点で「学問分野」を考えていない方は、「もし進学するとしたら」と仮定してお答えください。

<第1希望>

	回答数	比率
1. 法律・政治・政策学	1,251	5.1%
2. 経済・経営・商学	2,640	10.8%
3. 社会・情報学	622	2.5%
4. 国際関係・観光学	838	3.4%
5. 地理・歴史学	411	1.7%
6. 心理・人間学	764	3.1%
7. 外国語学	1,055	4.3%
8. 文学	717	2.9%
9. 工学	1,513	6.2%
10. 理学	616	2.5%
11. 農・生命学	342	1.4%
12. 獣医・水産・畜産学	252	1.0%
13. 医・歯・薬学	716	2.9%
14. 看護学	1,491	6.1%
15. 医療技術学(理学療法・作業療法など)	925	3.8%
16. 教育・保育・福祉学	2,683	11.0%
17. 家政・生活・栄養学	1,047	4.3%
18. 芸術・表現学	1,211	5.0%
19. 体育・健康科学	1,412	5.8%
20. その他	1,653	6.8%
無記入	2,241	9.2%
合計	24,400	100.0%

第1希望の学問分野



第2希望でも、第1希望と同じく「教育・保育・福祉学」、「経済・経営・商学」が上位2分野

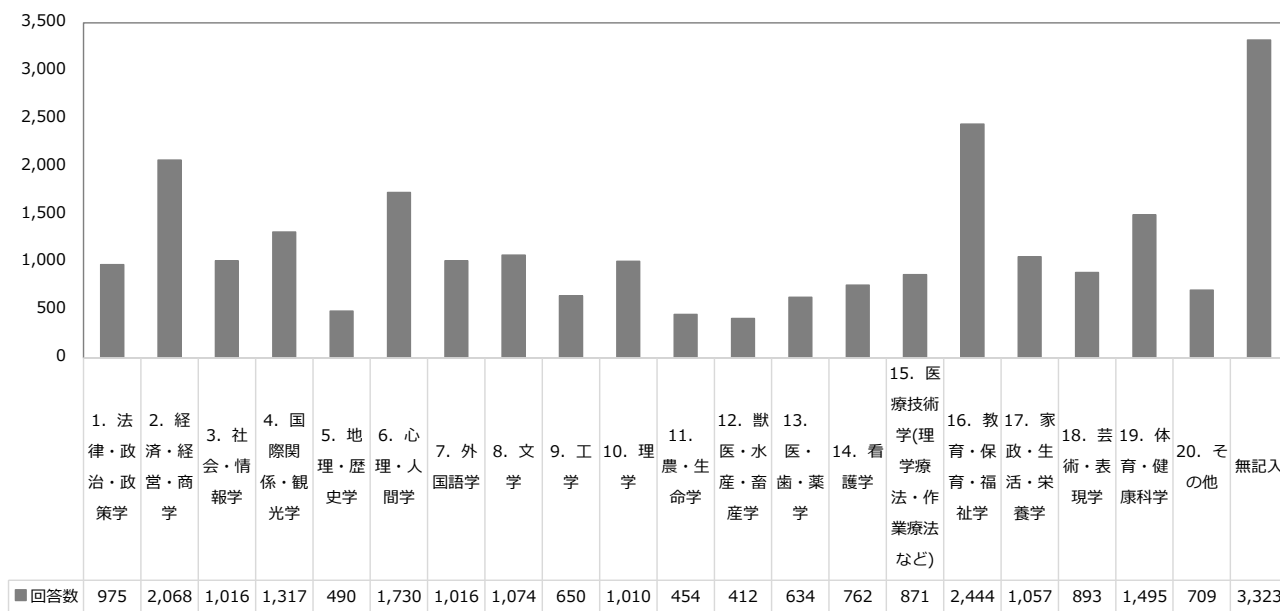
問5. あなたが進学したいと考えている学問分野はどれですか。次の中から第3希望まで選んでください。

※卒業後の進路として、現時点で「学問分野」を考えていない方は、「もし進学するとしたら」と仮定してお答えください。

<第2希望>

	回答数	比率
1. 法律・政治・政策学	975	4.0%
2. 経済・経営・商学	2,068	8.5%
3. 社会・情報学	1,016	4.2%
4. 国際関係・観光学	1,317	5.4%
5. 地理・歴史学	490	2.0%
6. 心理・人間学	1,730	7.1%
7. 外国語学	1,016	4.2%
8. 文学	1,074	4.4%
9. 工学	650	2.7%
10. 理学	1,010	4.1%
11. 農・生命科学	454	1.9%
12. 獣医・水産・畜産学	412	1.7%
13. 医・歯・薬学	634	2.6%
14. 看護学	762	3.1%
15. 医療技術学(理学療法・作業療法など)	871	3.6%
16. 教育・保育・福祉学	2,444	10.0%
17. 家政・生活・栄養学	1,057	4.3%
18. 芸術・表現学	893	3.7%
19. 体育・健康科学	1,495	6.1%
20. その他	709	2.9%
無記入	3,323	13.6%
合計	24,400	100.0%

第2希望の学問分野



第3希望では、「教育・保育・福祉学」に次いで、「心理・人間学」が第2位

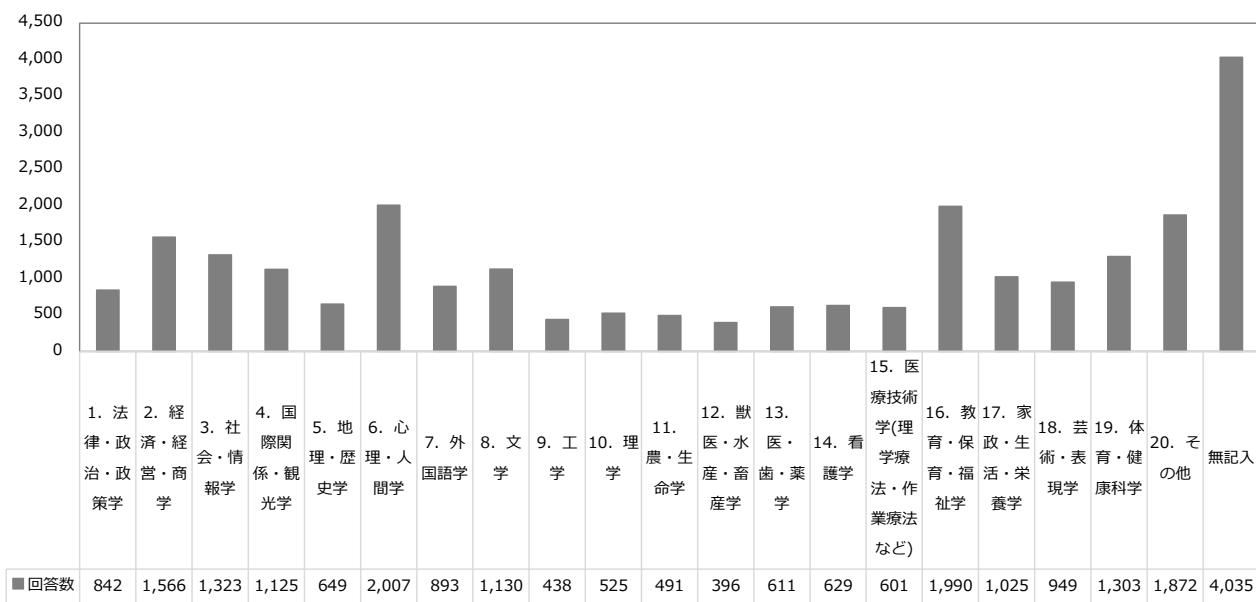
問5. あなたが進学したいと考えている学問分野はどれですか。次の中から第3希望まで選んでください。

※卒業後の進路として、現時点で「学問分野」を考えていない方は、「もし進学するとしたら」と仮定してお答えください。

<第3希望>

	回答数	比率
1. 法律・政治・政策学	842	3.5%
2. 経済・経営・商学	1,566	6.4%
3. 社会・情報学	1,323	5.4%
4. 国際関係・観光学	1,125	4.6%
5. 地理・歴史学	649	2.7%
6. 心理・人間学	2,007	8.2%
7. 外国語学	893	3.7%
8. 文学	1,130	4.6%
9. 工学	438	1.8%
10. 理学	525	2.2%
11. 農・生命学	491	2.0%
12. 獣医・水産・畜産学	396	1.6%
13. 医・歯・薬学	611	2.5%
14. 看護学	629	2.6%
15. 医療技術学(理学療法・作業療法など)	601	2.5%
16. 教育・保育・福祉学	1,990	8.2%
17. 家政・生活・栄養学	1,025	4.2%
18. 芸術・表現学	949	3.9%
19. 体育・健康科学	1,303	5.3%
20. その他	1,872	7.7%
無記入	4,035	16.5%
合計	24,400	100.0%

第3希望の学問分野



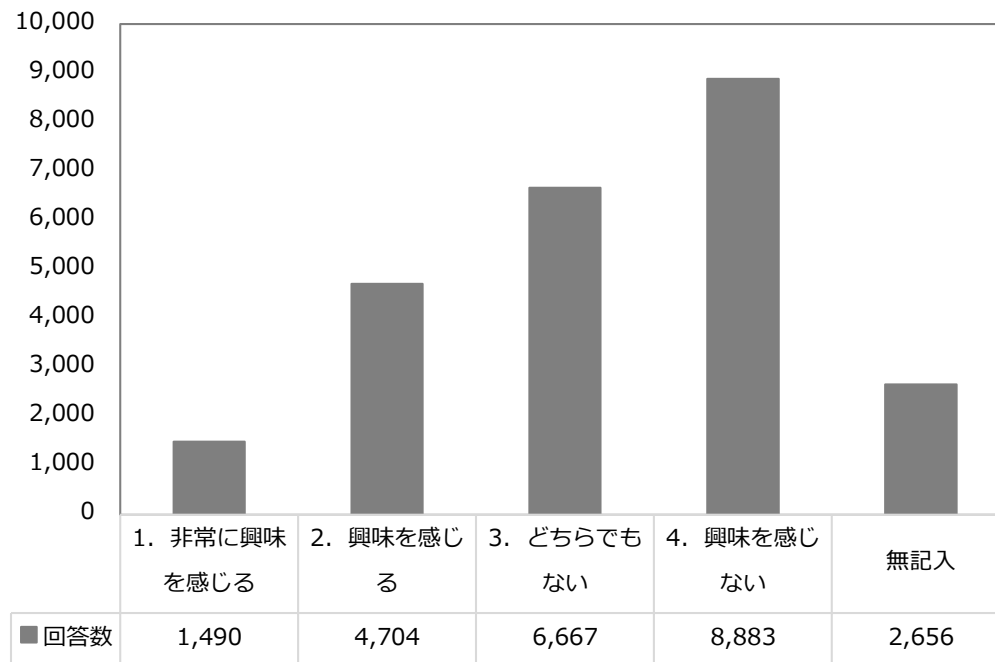
「非常に興味を感じる」と「興味を感じる」の合計が6,194人（合計で25.4%）

問6. あなたは以下のうち、どの学科に興味がありますか。各学科ごとに1つだけ選んでください。

【文学部 歴史文化学科】

	回答数	比率
1. 非常に興味を感じる	1,490	6.1%
2. 興味を感じる	4,704	19.3%
3. どちらでもない	6,667	27.3%
4. 興味を感じない	8,883	36.4%
無記入	2,656	10.9%
合計	24,400	100.0%

文学部 歴史文化学科への興味



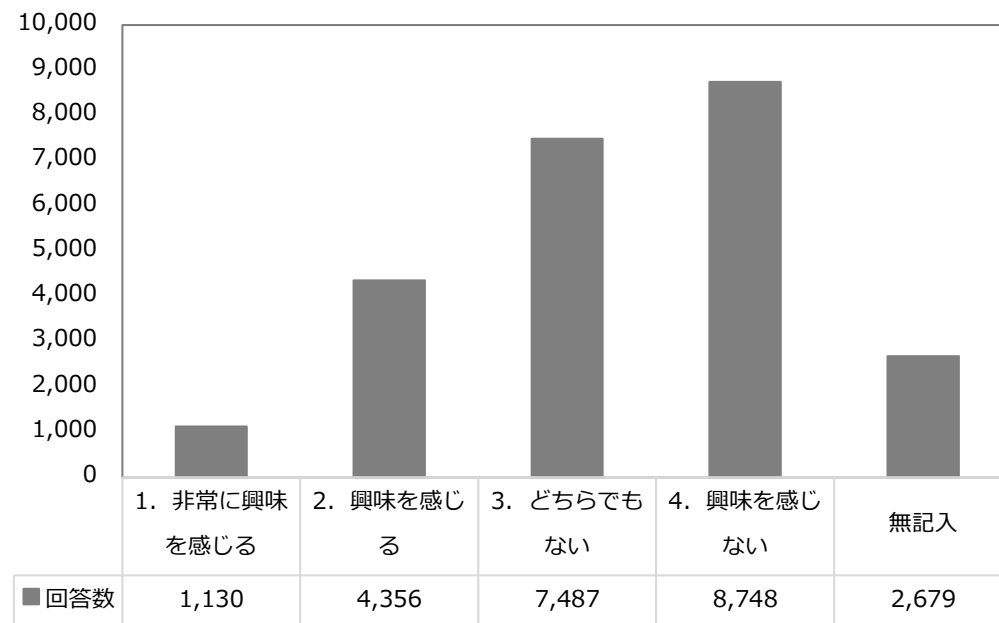
「非常に興味を感じる」と「興味を感じる」の合計が5,486人（合計で22.5%）

問6. あなたは以下のうち、どの学科に興味がありますか。各学科ごとに1つだけ選んでください。

【社会学部 社会学科】

	回答数	比率
1. 非常に興味を感じる	1,130	4.6%
2. 興味を感じる	4,356	17.9%
3. どちらでもない	7,487	30.7%
4. 興味を感じない	8,748	35.9%
無記入	2,679	11.0%
合計	24,400	100.0%

社会学部 社会学科への興味

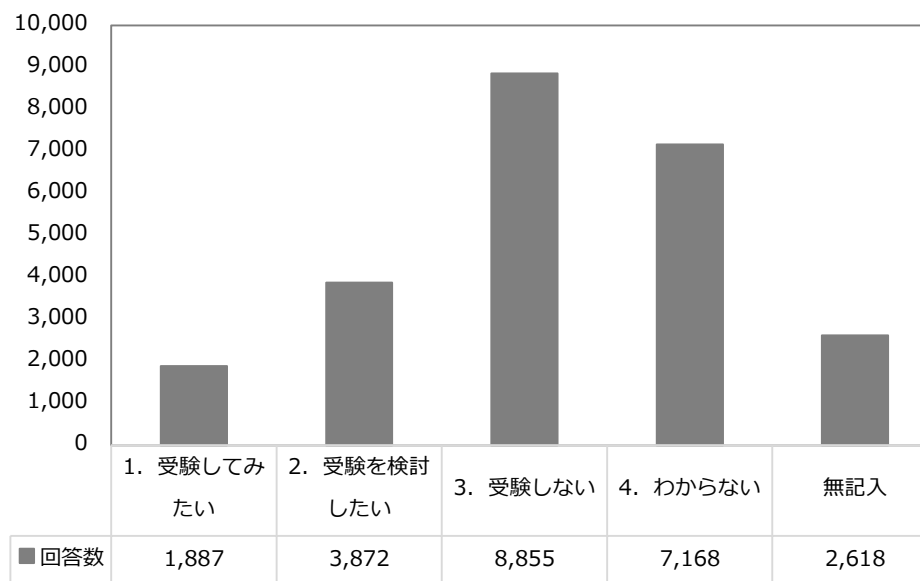


「受験してみたい」と「検討したい」の合計が5,759人（合計で23.6%）

問7. あなたは問6で掲げた学部学科のうち、いずれかの学部学科を受験したいと思いますか。1つだけ選んでください。

	回答数	比率
1. 受験してみたい	1,887	7.7%
2. 受験を検討したい	3,872	15.9%
3. 受験しない	8,855	36.3%
4. わからない	7,168	29.4%
無記入	2,618	10.7%
合計	24,400	100.0%

受験意思

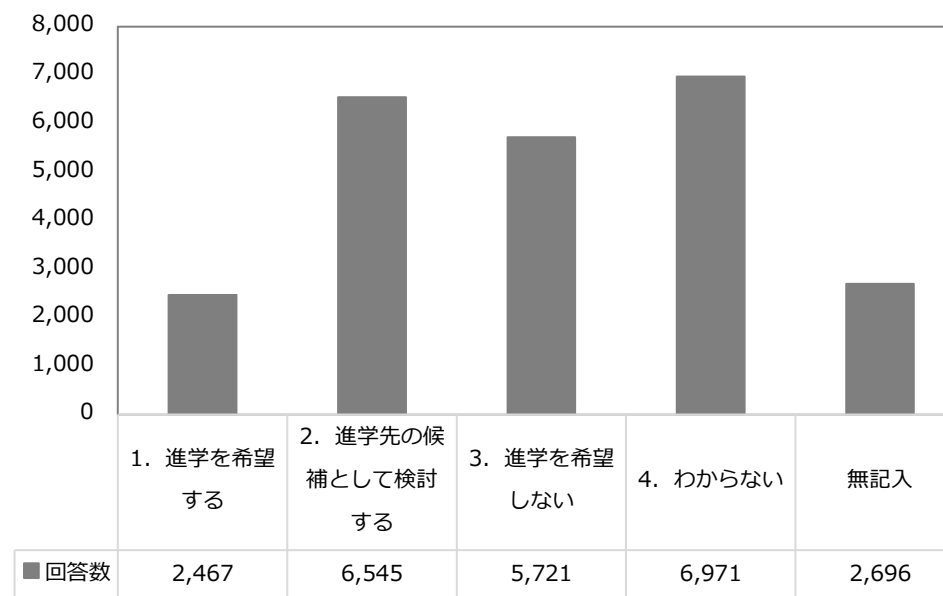


「進学を希望する」と「進学先の候補として検討する」の合計が9,012人（合計で37.0%）

問8. あなたは問6で掲げたいずれかの学部学科を受験し合格した場合、その学部学科への進学を希望しますか。  
1つだけ選んでください。

	回答数	比率
1. 進学を希望する	2,467	10.1%
2. 進学先の候補として検討する	6,545	26.8%
3. 進学を希望しない	5,721	23.4%
4. わからない	6,971	28.6%
無記入	2,696	11.0%
合計	24,400	100.0%

進学意思

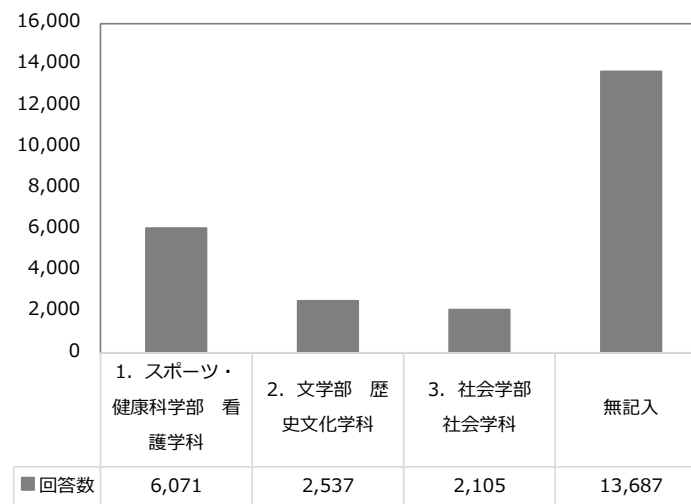


歴史文化学科は2,537人、社会学科は2,105人となった

問9. 問8で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補として検討する」を選択いただいた方におたずねします。  
あなたはどの学部学科に進学したいですか。進学したい学部学科を1つだけ選んでください。

	回答数	比率
1. スポーツ・健康科学部 看護学科	6,071	24.9%
2. 文学部 歴史文化学科	2,537	10.4%
3. 社会学部 社会学科	2,105	8.6%
無記入	13,687	56.1%
合計	24,400	100.0%

進学希望学部学科

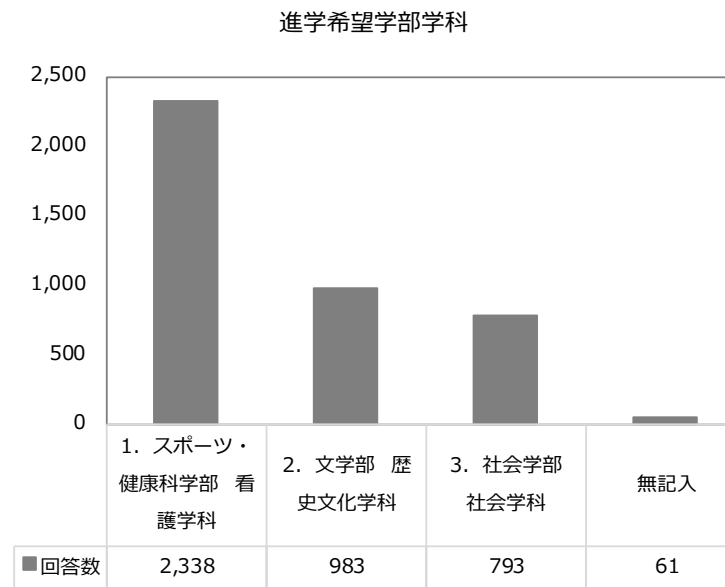




歴史文化学科は983人、社会学科は793人となった

問9. 問8で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補として検討する」を選択いただいた方におたずねします。  
あなたはどの学部学科に進学したいですか。進学したい学部学科を1つだけ選んでください。

	回答数	比率
1. スポーツ・健康科学部 看護学科	2,338	56.0%
2. 文学部 歴史文化学科	983	23.5%
3. 社会学部 社会学科	793	19.0%
無記入	61	1.5%
合計	4,175	100.0%

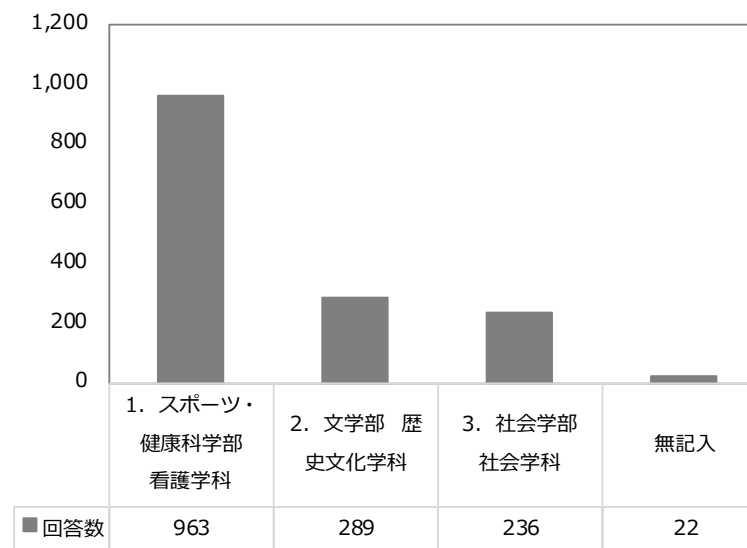


歴史文化学科は289人、社会学科は236人となった

問9. 問8で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補として検討する」を選択いただいた方におたずねします。  
あなたはどの学部学科に進学したいですか。進学したい学部学科を1つだけ選んでください。

	回答数	比率
1. スポーツ・健康科学部 看護学科	963	63.8%
2. 文学部 歴史文化学科	289	19.1%
3. 社会学部 社会学科	236	15.6%
無記入	22	1.5%
合計	1,510	100.0%

進学希望学部学科



## 2. Appendix

<Appendix>

アンケート回収高校名一覧とエリア別回収件数

(アンケート回収高校名一覧を記載)

都道府県	高校数	比率
岩手	1	0.7%
山形	3	2.1%
福島	5	3.6%
茨城	14	10.0%
栃木	6	4.3%
群馬	11	7.9%
埼玉	36	25.7%
千葉	12	8.6%
東京	23	16.4%
神奈川	5	3.6%
新潟	7	5.0%
福井	1	0.7%
山梨	2	1.4%
長野	1	0.7%
静岡	8	5.7%
福岡	1	0.7%
熊本	1	0.7%
宮崎	2	1.4%
沖縄	1	0.7%
合計	140	100.0%

# <Appendix> 調査票イメージ (高校向け)

## 大東文化大学 新学部新学科 設置に関するアンケート調査

本学では、2023年の大学創立百周年を迎えるにあたり、2018年春に「スポーツ・健康科学部 看護学科」「文学部 歴史文化学科」「社会学部 社会学科」(全て仮称)の設置を構想しております。今回、新学部新学科の構想にあたり、よりよい教育の実現を目指すため、高校生の皆様のご意見をあらかじめお聞きしたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。なお、このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の新学部設置の統計資料としてのみ活用し、個人情報として扱うことは一切ありません。

はじめに、あなた自身のことについておたずねします。

- 【回答欄】
- 問1 あなたの性別についておたずねします。  
1. 男性  2. 女性
- 問2 あなたのお住まいの都道府県はどこですか。  
1. 東京都  2. 埼玉県  3. 千葉県   
4. 神奈川県  5. 群馬県  6. 栃木県   
7. 茨城県  8. その他 ( )
- 問3 あなたの学年についておたずねします。  
1. 高校2年生  2. その他 ( )
- 問4 あなたの進路についておたずねします。  
あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を1つだけ選んでください。  
1. 大学  2. 短期大学   
3. 専門学校・各種学校  4. 就職   
5. 留学  6. その他 ( )
- ⇒1, 2, 3を選択された方は問5に進んでください。  
⇒4, 5, 6を選択された方は裏面の問10に進んでください。

- 問5 あなたが進学したいと考えている学問分野はどれですか。次の中から第3希望まで選んでください。  
※卒業後の進路として、現時点で「学問分野」を考えていない方は、「もし進学するとしたら」と仮定してお答えください。
- 【第1希望】
- 【第2希望】
- 【第3希望】
1. 法律・政治・政策学  
2. 経済・経営・商学  
3. 社会・情報学  
4. 国際関係・観光学  
5. 地理・歴史学  
6. 心理・人間学  
7. 外国語学  
8. 文学  
9. 工学  
10. 理学  
11. 農・生命科学  
12. 観音・水産・畜産学  
13. 医・歯・薬学  
14. 看護学  
15. 医療技術学(理学療法・作業療法など)  
16. 教育・保育・福祉学  
17. 家政・生活・栄養学  
18. 芸術・表現学  
19. 体育・健康科学  
20. その他

(裏面に続く)

平成 28年 9月 吉日  
高等学校 学校長 殿  
進路指導担当者 殿  
大東文化大学 学長 太田 政男  
新学部新学科設置に関するアンケート調査へのご協力のお願い

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は本学の教育活動にご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。このたびは突然のお問い合わせにもかかわらず、標記アンケート調査へのご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
本学では、2023年の大学創立百周年を迎えるにあたり、2018年春に「スポーツ・健康科学部 看護学科」「文学部 歴史文化学科」「社会学部 社会学科」(全て仮称)の設置を構想しております。そこで今回、貴校の2年生の皆さんに卒業後の進路についてのお考えをお聞きし、新しい学部学科を開設するための基礎資料とさせていただきます。なお、本調査結果につきましてはコンピュータで処理され、統計資料としてのみ使用させていただきます。  
公務ご多用のところ、誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
謹白

1. 調査内容  
・高校2年次における進路に関する意識および大東文化大学新学部新学科への入学意向について
2. 調査方法  
・調査対象は高校2年生です。  
・新学部リーフレットとアンケート調査用紙が入ったクリアファイルを同封いたしましたので、ホームルーム等、アンケートへのご協力可能なお時間で実施していただき、アンケート調査用紙の回収をお願いいたします。
3. 返送希望日、返送方法  
・誠に勝手ながら集計作業の都合上、平成28年11月4日(金)を目途にご返送いただければ幸いです。  
・同封の返送用封筒および宅配便伝票(着払)をご使用いただき、回答済みアンケート調査用紙のみご返送下さい。
4. 調査実施に関するお問い合わせ先  
・大東文化大学 学務部(担当: 箕輪、矢部、中野)  
電話: 03-5399-7333(平日9時~17時、土曜9時~12時) E-mail: gakumu@jm.daito.ac.jp  
※なお、本調査の実施は、所定の契約を結んだ上で業務委託しておりますので、宅配便伝票の返送先は、業務委託先である下記調査会社となっております。  
【業務委託先】株式会社リクルートマーケティングパートナーズ まなび事業本部 調査担当: 小竹・河内  
〒104-0031 東京都中央区京橋2-1-3 京橋トラストタワー 8F (電話: 03-6835-3924 FAX: 03-6705-0244)

「スポーツ・健康科学部 看護学科」「文学部 歴史文化学科」「社会学部 社会学科」(全て仮称)についておたずねします。

- 問6 あなたは以下のうち、どの学科に興味がありますか。各学科ごとに1つだけ選んでください。 【回答欄】
- 【スポーツ・健康科学部 看護学科】  
1. 非常に興味を感じる   
2. 興味を感じる   
3. どちらでもない   
4. 興味を感じない
- 【文学部 歴史文化学科】  
1. 非常に興味を感じる   
2. 興味を感じる   
3. どちらでもない   
4. 興味を感じない
- 【社会学部 社会学科】  
1. 非常に興味を感じる   
2. 興味を感じる   
3. どちらでもない   
4. 興味を感じない
- 問7 あなたは問6で掲げた学部学科のうち、いずれかの学部学科を受験したいと思いませんか。1つだけ選んでください。  
1. 受験してみたい   
2. 受験を検討したい   
3. 受験しない   
4. わからない
- 問8 あなたは問6で掲げたいずれかの学部学科を受験し合格した場合、その学部学科への進学を希望しますか。1つだけ選んでください。  
1. 進学を希望する   
2. 進学先の候補として検討する   
3. 進学を希望しない   
4. わからない
- 問9 問8で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補として検討する」を選択いただいた方におたずねします。  
あなたはどの学部学科に進学したいですか。進学したい学部学科を1つだけ選んでください。  
1. スポーツ・健康科学部 看護学科   
2. 文学部 歴史文化学科   
3. 社会学部 社会学科

問10 それぞれの学部学科につきまして、ご意見等がありましたら、是非ともお聞かせください。

スポーツ・健康科学部 看護学科	
文学部 歴史文化学科	
社会学部 社会学科	

【参考資料】

新学部新学科名 (仮称/設置構想中)	入学定員 (千名)	初年度納付金 (入学定員/千名)	他大学の類似学科	他大学の初年度納付金(入学定員千名) (2016年度実績)
スポーツ・健康科学部 看護学科	110人	初年度納入金:190万7,600円 入学金:20万円(千名) 授業料:69万7,000円(千名) その他:71万7,600円(千名)	①東都医療大学 看護学科 ②西武文都大学 看護学科 ③日本医療科学大学 保健医療学部 看護学科	初年度納入金:175万9,370円 (入学金:25万円/授業料:90万円/その他:60万9,370円) 初年度納入金:193万5,000円 (入学金:30万円/授業料:100万円/その他:63万5,000円) 初年度納入金:185万6,000円 (入学金:30万円/授業料:90万円/その他:75万6,000円)
文学部 歴史文化学科	100人	初年度納入金:120万6,600円 入学金:20万円(千名) 授業料:69万7,000円(千名) その他:26万7,600円(千名)	①東洋大学 文学部 文学科 ②立正大学 文学部 文学科 ③大正大学 文学部 歴史学科	初年度納入金:116万円 (入学金:25万円/授業料:69万円/その他:23万円) 初年度納入金:120万1,000円 (入学金:25万円/授業料:69万4,000円/その他:22万7,000円) 初年度納入金:113万円 (入学金:25万円/授業料:70万円/その他:23万円)
社会学部 社会学科	200人	初年度納入金:119万6,600円 入学金:20万円(千名) 授業料:68万7,000円(千名) その他:26万7,600円(千名)	①関東学院大学 社会学部 現代社会学科 ②成蹊大学 社会学部 社会学科 ③日本文学 社会学部 地域社会学科	初年度納入金:126万2,600円 (入学金:28万円/授業料:70万円/その他:28万2,600円) 初年度納入金:133万7,900円 (入学金:27万円/授業料:74万円/その他:32万7,900円) 初年度納入金:135万1,600円 (入学金:25万円/授業料:71万5,000円/その他:38万7,100円)

\*\*\* これにてアンケートは終了です。ご協力いただきまして誠にありがとうございます。\*\*\*



## 大東文化大学 新学部新学科 設置に関するアンケート調査

本学では、2023年の大学創立百周年を迎えるにあたり、2018年春に「スポーツ・健康科学部 看護学科」「文学部 歴史文化学科」「社会学部 社会学科」（全て仮称）の設置を構想しております。

今回、新学部新学科の構想にあたり、よりよい教育の実現を目指すため、高校生の皆様の率直なご意見をおうかがいしたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

なお、このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の新学部設置の統計資料としてのみ活用し、個人情報として扱うことは一切ありません。

はじめに、あなた自身のことについておたずねします。

【回答欄】

問1 あなたの性別についておたずねします。

1. 男性                                  2. 女性

問2 あなたのお住まいの都道府県はどちらですか。

1. 東京都                                  2. 埼玉県                                  3. 千葉県  
4. 神奈川県                              5. 群馬県                                  6. 栃木県  
7. 茨城県                                  8. その他(                                  )

問3 あなたの学年についておたずねします。

1. 高校2年生                              2. その他(                                  )

問4 あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を1つだけ選んでください。

1. 大学    2. 短期大学  
3. 専門学校・各種学校                  4. 就職  
5. 留学    6. その他(                                  )

⇒1、2、3を選択された方は問5に進んでください。

⇒4、5、6を選択された方は裏面の問10に進んでください。

問5 あなたが進学したいと考えている学問分野はどれですか。次の中から第3希望まで選んでください。

※卒業後の進路として、現時点で「学問分野」を考えていない方は、「もし進学するとしたら」と仮定してお答えください。

- |                        |               |
|------------------------|---------------|
| 1. 法律・政治・政策学           | 2. 経済・経営・商学   |
| 3. 社会・情報学              | 4. 国際関係・観光学   |
| 5. 地理・歴史学              | 6. 心理・人間学     |
| 7. 外国語学                | 8. 文学         |
| 9. 工学                  | 10. 理学        |
| 11. 農・生命学              | 12. 獣医・水産・畜産学 |
| 13. 医・歯・薬学             | 14. 看護学       |
| 15. 医療技術学（理学療法・作業療法など） | 16. 教育・保育・福祉学 |
| 17. 家政・生活・栄養学          | 18. 芸術・表現学    |
| 19. 体育・健康科学            | 20. その他       |

【第1希望】

【第2希望】

【第3希望】

(裏面に続く)

「スポーツ・健康科学部 看護学科」「文学部 歴史文化学科」「社会学部 社会学科」(全て仮称)についておたずねします。

問6 あなたは以下のうち、どの学科に興味がありますか。各学科ごとに1つだけ選んでください。

【回答欄】

【スポーツ・健康科学部 看護学科】

1. 非常に興味を感じる  
2. 興味を感じる  
3. どちらでもない  
4. 興味を感じない

【文学部 歴史文化学科】

1. 非常に興味を感じる  
2. 興味を感じる  
3. どちらでもない  
4. 興味を感じない

【社会学部 社会学科】

1. 非常に興味を感じる  
2. 興味を感じる  
3. どちらでもない  
4. 興味を感じない

問7 あなたは問6で掲げた学部学科のうち、いずれかの学部学科を受験したいと思いませんか。1つだけ選んでください。

1. 受験してみたい  
2. 受験を検討したい  
3. 受験しない  
4. わからない

問8 あなたは問6で掲げたいずれかの学部学科を受験し合格した場合、その学部学科への進学を希望しますか。1つだけ選んでください。

1. 進学を希望する  
2. 進学先の候補として検討する  
3. 進学を希望しない  
4. わからない

問9 問8で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補として検討する」を選択いただいた方におたずねします。あなたはどの学部学科に進学したいですか。進学したい学部学科を1つだけ選んでください。

1. スポーツ・健康科学部 看護学科  
2. 文学部 歴史文化学科  
3. 社会学部 社会学科

問10 それぞれの学部学科につきまして、ご意見等がありましたら、是非ともお聞かせくださいませ。

スポーツ・健康科学部 看護学科	
文学部 歴史文化学科	
社会学部 社会学科	

【参考資料】

新設学部 学科名 (仮称/設置 構想中)	入学定員 (予定)	初年度納付金 (入学金含む/予定)	他大学の類似学科	他大学の初年度納付金(入学金含む) (2016年度実績)
スポーツ・ 健康科学部 看護学科	110人	初年度納入金:196万7,600円 入学金:25万円(予定) 授業料:100万円(予定) その他:71万7,600円(予定)	①東都医療大学 ヒューマンケア学部 看護学科	初年度納入金:175万9,370円 (入学金:25万円/授業料:90万円/その他:60万9,370円)
			②西武文理大学 看護学部 看護学科	初年度納入金:193万5,000円 (入学金:30万円/授業料:100万円/その他:63万5,000円)
			③日本医療科学大学 保健医療学部 看護学科	初年度納入金:185万6,000円 (入学金:30万円/授業料:80万円/その他:75万6,000円)
文学部 歴史文化学科	100人	初年度納入金:120万6,600円 入学金:25万円(予定) 授業料:69万3,000円(予定) その他:26万3,600円(予定)	①東洋大学 文学部 史学科	初年度納入金:116万円 (入学金:25万円/授業料:68万円/その他:23万円)
			②立正大学 文学部 史学科	初年度納入金:120万1,000円 (入学金:28万3,000円/授業料:69万4,000円/その他:22万4,000円)
			③大正大学 文学部 歴史学科	初年度納入金:115万円 (入学金:20万円/授業料:70万円/その他:25万円)
社会学部 社会学科	200人	初年度納入金:119万6,600円 入学金:25万円(予定) 授業料:68万3,000円(予定) その他:26万3,600円(予定)	①関東学院大学 社会学部 現代社会学科	初年度納入金:126万2,660円 (入学金:28万円/授業料:70万円/その他:28万2,660円)
			②武蔵大学 社会学部 社会学科	初年度納入金:133万8,900円 (入学金:27万円/授業料:74万円/その他:32万8,900円)
			③目白大学 社会学部 地域社会学科	初年度納入金:135万160円 (入学金:25万円/授業料:71万5,000円/その他:38万5,160円)

\*\*\* これでアンケートは終了です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。\*\*\*





大東文化大学に  
カ・レ・シが  
できます。

2018年4月、大東文化大学は、3つの学科の  
新設を予定しています。(設置構想中※)

 大東文化大学

※設置予定 構想中(内容、学部学科名称、取得可能な資格等は予定であり変更する場合があります。)

---

## 将来性のある カレシです。

---

急激に変化し続ける社会、加速するグローバリゼーションのなかで、新しい時代を見据えた“未来志向”の学びを。本リーフレットでは、そうした学びの特徴とともに、それぞれの学部・学科が予測する未来をご紹介します。

あなたの将来にとっても、ヒントになることがきっとあるはず。ぜひ少しの時間、お付き合いください。

---



カ

看護学科<sup>(仮称)</sup>

[スポーツ・健康科学部]



レ

歴史文化学科<sup>(仮称)</sup>

[文学部]



シ

社会学部社会学科<sup>(仮称)</sup>

# 看護学科<sup>(仮称)<sup>※</sup></sup> [スポーツ・健康科学部]



## スポーツ・健康科学部看護学科の未来予測

少子高齢化が進み、医師や看護師の不足は当面続いていく。一方で、医療の高度化やQOL(クオリティ・オブ・ライフ=生活の質。人間らしく、自分らしく生活できているかを評価する概念)への関心の高まりによって、+αな付加価値をもった看護師が高く評価される時代に。

### >>>そこで求められるチカラ、スキル

「教育の大東」としての豊富な教養  
科目群により培われる、さまざまな  
看護の対象者を理解するチカラ

「地域の大東」として、住み慣れた地域で  
自分らしい暮らしを人生の最後まで続け  
ることができるよう支援できるチカラ

「スポーツの大東」として、健  
康の回復・維持・増進を支援  
するチカラ

## スポーツ・健康科学部看護学科の特徴

- ヒューマンケアの専門職として必要な教養と看護実践能力を身につけるカリキュラム
- 地域で求められる医療人材を養成するための実習プログラム
- スポーツ科学科、健康科学科、看護学科の特徴を活かした健康維持増進の専門職の育成

## 看護師としての幅広い活躍の場

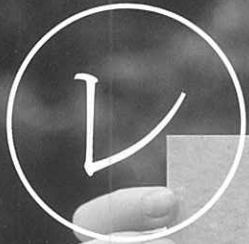
- 病院・診療所・クリニック
- 訪問看護ステーション
- 介護老人保健施設  
介護老人福祉施設  
介護療養型医療施設
- 一般企業の健康管理室など

## 取得可能な国家資格

- 看護師国家試験受験資格\*

キャンパス所在地: 東松山キャンパス(1~4年次)

入学定員 110名(予定)



# 歴史文化学科 (仮称)<sup>※</sup> [文学部]

3年次進級の際に1コースを選択▷▷ ◎日本史コース ◎東西文化コース ◎観光歴史学コース



## 文学部歴史文化学科の未来予測

メーカー・金融はもちろん、小売・サービス業においても海外進出が増え、多くの日本企業がグローバル化する。また、国内においても、2020年の東京オリンピックをきっかけに、外国人の訪日旅行が増加するなど、さまざまな国の人々と触れあう機会が自然と増えていく。

### >>>そこで求められるチカラ、スキル

自国の魅力を自分の言葉で語る  
ことができる歴史や文化に関する  
深い知識

異なる文化、コミュニティの人とも  
豊かに共生できる協調性、コミュ  
ニケーションスキル

歴史・文化遺産や地域の特色を  
活かした商品・サービスを企画す  
るプロデュース力

## 文学部歴史文化学科の特徴

- 「世界の中の日本」という視点で歴史・文化・社会を学ぶカリキュラム
- 自国の歴史を多様な観点から学び、現代の理解につなげる教育
- 地域社会・自治体・企業との協働プロジェクトなど、フィールドワークを取り入れた実践的教育
- 外国語教育など、観光分野の人材育成と「国内旅行業務取扱管理者」資格取得支援

キャンパス所在地：東松山キャンパス(1・2年次)/板橋キャンパス(3・4年次)

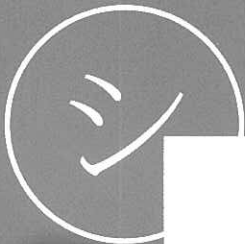
### 将来イメージ(業界・職種の可能性)

- 一般企業(観光分野)
- 旅行代理店
- 出版業界
- 教育・学習支援業
- 地域振興を担う地方公務員
- 博物館の職員
- 図書館・学校図書室の職員
- 中学・高校の教員\* など

### 取得可能な資格

- 学芸員
- 司書
- 社会教育主事
- 教育職員(一種)免許状  
(中学校社会・高校地理歴史)\*

入学定員 100名(予定)



# 社会学部社会学科 (仮称)<sup>※</sup>

2年次進級の際に1コースを選択▷▷ ◎多文化と共生コース ◎都市と地域コース ◎メディアと情報コース



## 社会学部社会学科の未来予測

急激なグローバル化により、国境を越えたヒト・モノ・情報の動きが加速していくなかで、少子高齢化や格差、国家財政のひっ迫、環境破壊などの問題はより深刻化する。変化していく状況に、一人ひとりが柔軟に対応していかなければならない時代に。

### }}}}そこで求められるチカラ、スキル

文化や価値観・発想の違いを理解し、お互いに協力・尊重し合って生きていく人間力

「あたりまえ」を疑い、あらゆる次元で問題を見つけだし、分析する調査能力、マーケティング力

マニュアルに頼らず、自ら対策を講じていく課題解決力

## 社会学部社会学科の特徴

- 社会学の理論と社会調査のスキルを身につけるカリキュラム
- 在学中ずっと続く少人数クラスが、学生一人ひとりの学びをサポート
- 「インターンシップ」、「キャリア支援特殊講義」など、社会に出て学ぶ研修科目
- 現地現物でリアルな体験をする「海外・国内研修」、「国内留学制度」

キャンパス所在地：東松山キャンパス(1・2年次)/板橋キャンパス(3・4年次)

### 将来イメージ(業界・職種の可能性)

- 一般企業(市場調査部門)
- 出版・マスコミ関係
- リサーチ会社などの調査員
- IT関連企業
- 公務員・団体職員
- 高校教員(情報)\* など

### 取得可能な資格

- 社会調査士(申請予定)
- 認定心理士(申請予定)
- 教育職員(一種)免許状(高校情報)\*

入学定員 200名(予定)

# 大東文化大学

アジアから世界へ— 多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造

Since 1923

## ROOTS 国によって創立された私立大学

大東文化大学は、8学部18学科を有する総合大学です。1923年、当時の国会である“帝国議会”の決議によって生まれたルーツをもつ日本でもめずらしい私立大学です。

現在、7年後の創立100周年を目指し、学部再編成や学科新設など、社会のニーズに対応した様々な取り組みを行っています。

## 大東文化大学の学びの特徴

- ◎初年次教育
- ◎500以上の全学共通科目
- ◎20言語の語学教育
- ◎多彩な専門科目とゼミ
- ◎アクティブ・ラーニング
- ◎グローバルな学び など

## 板橋キャンパス

〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1

[設置学部] 文・経済・外国語・法・経営・環境創造学部3・4年次

### ACCESS

- 東武東上線にて東武練馬(大東文化大学前)駅北口下車 無料スクールバスで約7分
- 都営三田線西台(大東文化大学前)駅西口下車 徒歩9分
- JR赤羽駅西口下車 路線バス(国際興業)成増駅北口行き約20分 大東文化大学バス停下車



## 東松山キャンパス

〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿560

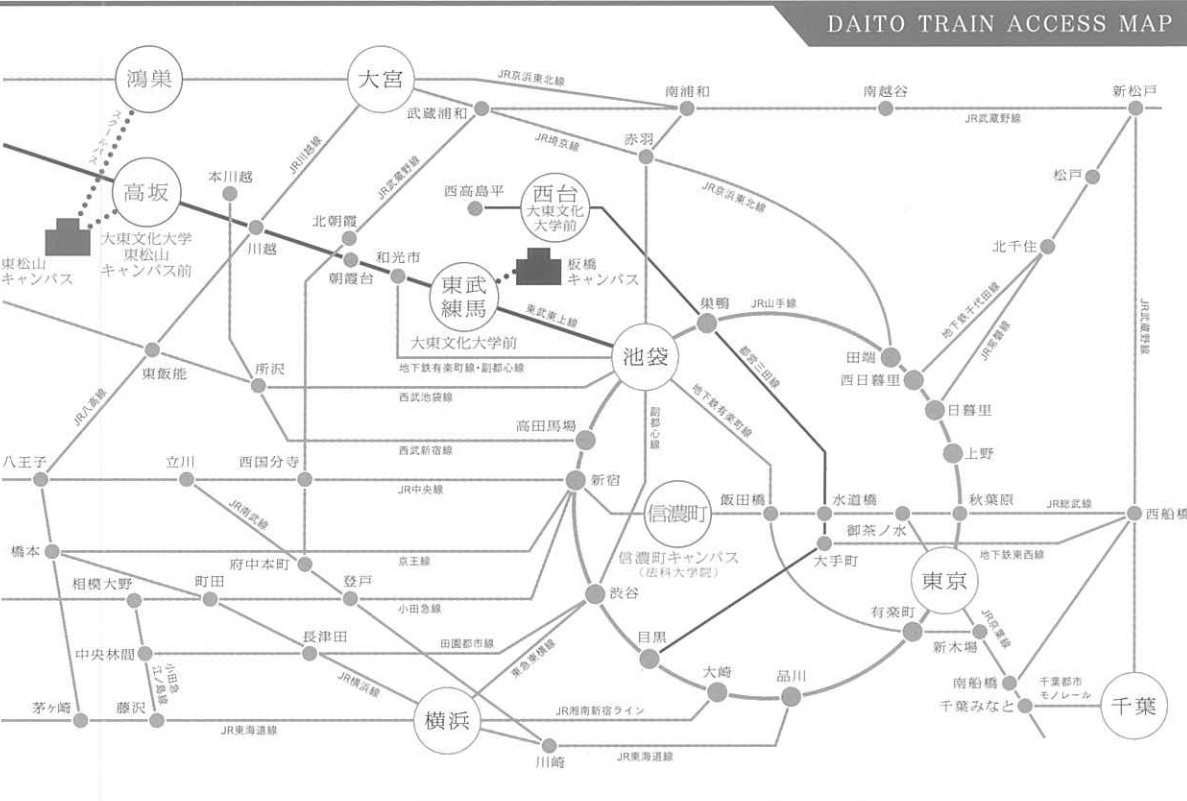
[設置学部] 文・経済・外国語・法・経営・環境創造学部(1・2年次) 国際関係学部/スポーツ・健康科学部(1~4年次)

### ACCESS

- 東武東上線(有楽町線/副都心線直通)にて高坂(大東文化大学東松山キャンパス前)駅西口下車 無料スクールバスで約7分/路線バス(川越観光)鳩山ニュータウン方面行き大東文化大学バス停下車
- JR高崎線鴻巣駅東口下車無料スクールバスで約40分



[設置学部]は2016年4月現在のキャンパス所在地です。



## スクールバス無料!

東武東上線の高坂駅とJR高崎線の鴻巣駅から東松山キャンパスへ、東武東上線の東武練馬駅から板橋キャンパスへ、両キャンパスとも無料のスクールバスを運行しています。



## 教員志望者をサポート! 教職課程センター

2016年  
4月スタート  
(両キャンパス)

本学は伝統的に教員志望者が多く、卒業生が全国の学校現場で教員として活躍中です。教職課程センターでは入学直後から資格取得、学校現場でのボランティア、採用試験対策、就職までのボランティア、採用試験対策、就職まで一貫してサポート。小・中・高教員としての経験を持つ本学の教職員が直接アドバイスを行います。

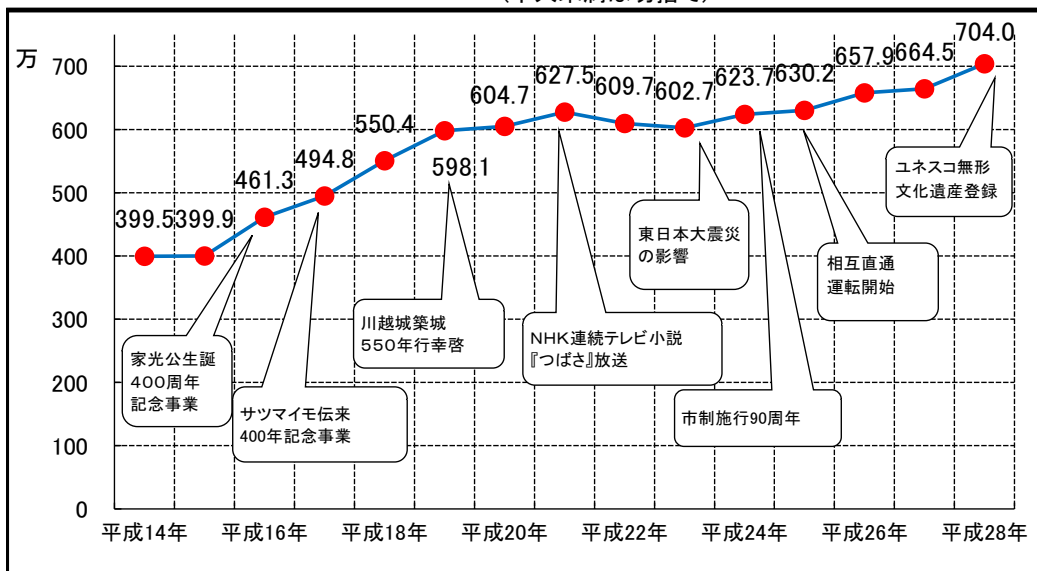
### サポートプログラム

- 教職セミナー(勉強会・面接指導など)
- 勉強会
- 教員採用試験対策模試
- 専門教養集中講座
- 教育実習先への訪問指導など

# 川越市入込観光客数の推移

年(暦年)	入込観光客数	前年との比較	
		増減数	増減率
昭和57年	1,507,000		
昭和58年	1,973,000	466,000	30.9%
昭和59年	1,995,000	22,000	1.1%
昭和60年	2,195,000	200,000	10.0%
昭和61年	2,320,000	125,000	5.7%
昭和62年	2,392,000	72,000	3.1%
昭和63年	2,386,000	▲6,000	▲0.3%
平成元年	3,387,000	1,001,000	42.0%
平成2年	3,483,000	96,000	2.8%
平成3年	3,424,000	▲59,000	▲1.7%
平成4年	3,557,000	133,000	3.9%
平成5年	3,435,000	▲122,000	▲3.4%
平成6年	3,506,000	71,000	2.1%
平成7年	3,503,000	▲3,000	▲0.1%
平成8年	3,750,000	247,000	7.1%
平成9年	3,827,000	77,000	2.1%
平成10年	3,541,000	▲286,000	▲7.5%
平成11年	3,889,000	348,000	9.8%
平成12年	3,892,000	3,000	0.1%
平成13年	3,891,000	▲1,000	0.0%
平成14年	3,995,000	104,000	2.7%
平成15年	3,999,000	4,000	0.1%
平成16年	4,613,000	614,000	15.4%
平成17年	4,948,000	335,000	7.3%
平成18年	5,504,000	556,000	11.2%
平成19年	5,981,000	477,000	8.7%
平成20年	6,047,000	66,000	1.1%
平成21年	6,275,000	228,000	3.8%
平成22年	6,097,000	▲178,000	▲2.8%
平成23年	6,027,000	▲70,000	▲1.1%
平成24年	6,237,000	210,000	3.5%
平成25年	6,302,000	65,000	1.0%
平成26年	6,579,000	277,000	4.4%
平成27年	6,645,000	66,000	1.0%
平成28年	7,040,000	395,000	5.9%

(千人未満は切捨て)



Keidanren  
Policy & Action

「今後の教育改革に関する  
基本的考え方」  
—第3期教育振興基本計画の策定に向けて—

2016年4月19日

一般社団法人 日本経済団体連合会



変化の激しい、将来が展望しにくい状況において経済成長を維持するためには、開かれた質の高い教育や、学び直しによる生涯学習を通じて国民一人ひとりの能力や生産性を高め、産業構造や社会の変化に主体的に対応し、生涯現役で活躍できる人材を育成することが急がれる。そのために、次世代の人材に求められる素質、能力を明らかにし、初等中等教育段階から高等教育まで、一貫したかたちでそれらを育成することが重要である。

### (これからの時代に求められる素質、能力)

これからの時代に人材に求められるのは、自らの問題意識に基づき、課題を設定し、他者に正解を求めず、主体的に解を見出す能力、自らの意見を論理的に発信する力、外国語によるコミュニケーション能力、幅広い教養（リベラル・アーツ）、多様性を尊重し、社会や文化的背景の異なる人々と協働して事業を遂行する能力などである。

また地球規模の課題を分野横断的な発想で解決することも求められていることから、理工系であっても人文社会科学を含む幅広い分野の科目を学ぶことや、人文社会科学系であっても先端技術や理数系の基礎的知識を学ぶことが重要である。さらに、「第4次産業革命」や「Society 5.0」への移行が進めば、これまで以上に、身の回りに情報があふれることになるため、質の高い情報を取捨選択し、情報を課題解決のために使いこなす能力（情報活用能力）を身につけることが必須となる。

## Ⅲ. 求められる教育改革

### 1. 求められる素質・能力の育成に向けた教育内容・方法の改革

#### (1) 学習指導要領の改訂への評価

これからの時代に求められる素質、能力の育成に向けては、大学改革が進む中、初等中等教育段階から同じ方向で改革に取り組んでいくことが重要である。それによって、大学改革もさらに加速する。

中教審において、新しい時代に必要となる素質、能力を育成する観点から、①何ができるようになるか（知識・技能、思考力、判断力、表現力、人間性や学習態度等）、②何を学ぶか（育成すべき素質・能力を踏まえた教科・科目の新

< 新学部新学科設置に関するアンケート調査 >  
最終集計結果のご報告  
歴史文化学科・社会学部社会学科 採用意向調査

< 2017/1/11 (水) 時点集計分 >

企業 ; 135社分

2017年3月17日

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ  
株式会社リクルートコミュニケーションズ

## 0. はじめに

- 本資料は、2017/1/11（木）時点におけるアンケート回収・集計結果をまとめた報告書となります。
- アンケートの回収状況は、50.0%となっております。  
（詳細については次頁以降参照）
- 最終的な集計結果は以下のようにとなっております。需要性という観点においては十分な量の「採用意向」が確保されました。

	定員数（予定）	「採用したい」、 「採用を検討したい」と 答えた企業・施設	ミニマムで 想定される 総採用人数
歴史文化学科	100人	104社	190人
社会学科	200人	109社	210人

<はじめに>  
アンケート発送枚数・回収（集計）済み枚数

<アンケート発送枚数・回収（集計）済み枚数>  
(1/11（木）時点回収分までを集計)

	アンケート発送枚数	回収（集計）済み枚数	回収率（%）
企業	270社	135社	50.0%

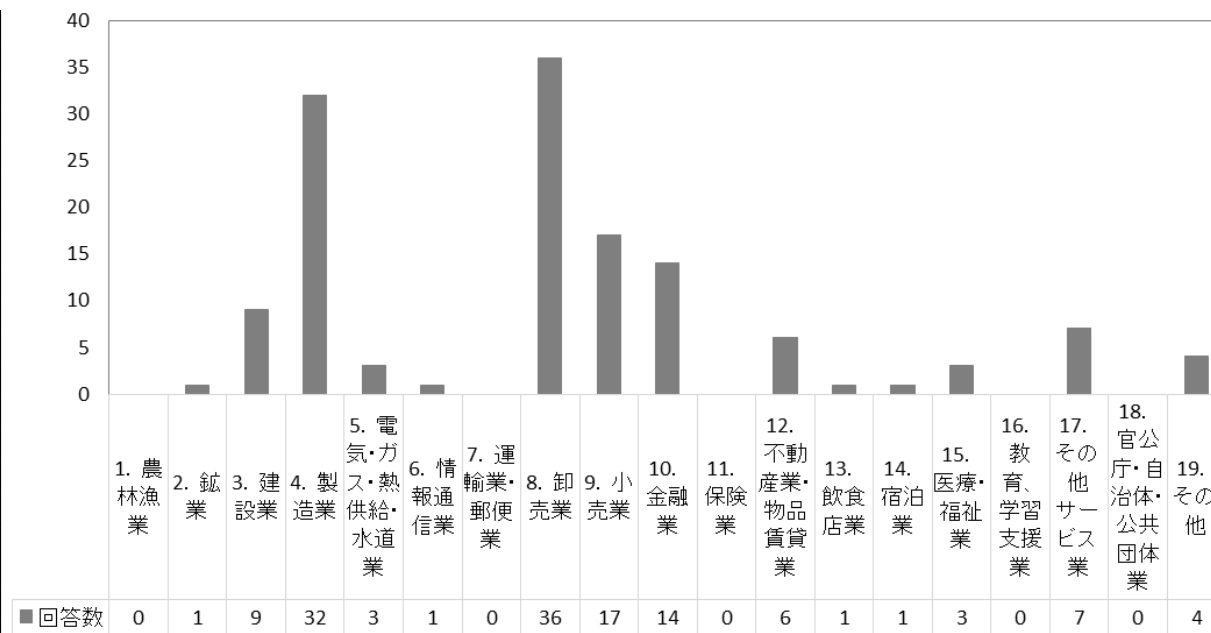
## 1. 企業向けアンケート 集計結果

卸売業が最も多く、次いで製造業、小売業、金融業、建設業と続く

問1. 貴事業所の主業種を次の中から1つだけお選びください。

	回答数	比率
1. 農林漁業	0	0.0%
2. 鉱業	1	0.7%
3. 建設業	9	6.7%
4. 製造業	32	23.7%
5. 電気・ガス・熱供給・水道業	3	2.2%
6. 情報通信業	1	0.7%
7. 運輸業・郵便業	0	0.0%
8. 卸売業	36	26.7%
9. 小売業	17	12.6%
10. 金融業	14	10.4%
11. 保険業	0	0.0%
12. 不動産業・物品賃貸業	6	4.4%
13. 飲食店業	1	0.7%
14. 宿泊業	1	0.7%
15. 医療・福祉業	3	2.2%
16. 教育、学習支援業	0	0.0%
17. その他サービス業	7	5.2%
18. 官公庁・自治体・公共団体業	0	0.0%
19. その他	4	3.0%
合計	135	100.0%

主業種

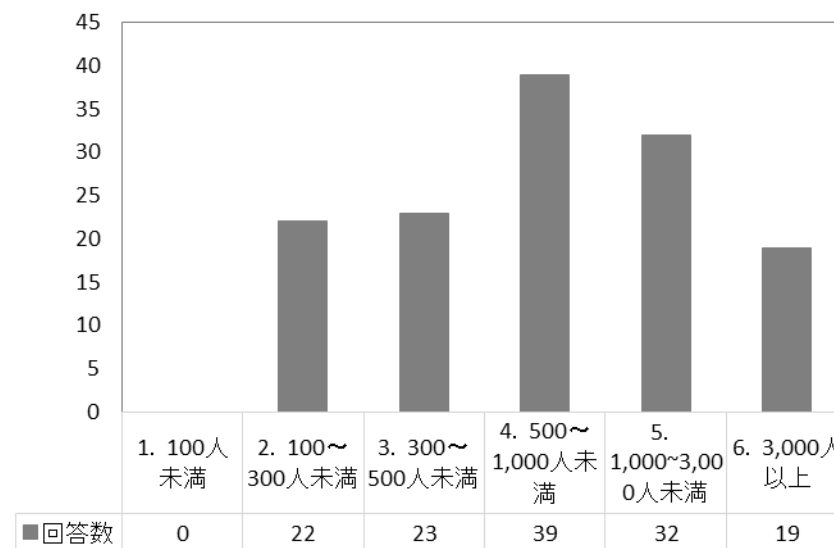


事業規模は「500～1,000人未満」が最も多く、次いで「1,000～3,000人未満」となっている

問2. 貴事業所の社員数(支店、支社を含める)を次のなかから1つだけお選びください。

	回答数	比率
1. 100人未満	0	0.0%
2. 100～300人未満	22	16.3%
3. 300～500人未満	23	17.0%
4. 500～1,000人未満	39	28.9%
5. 1,000～3,000人未満	32	23.7%
6. 3,000人以上	19	14.1%
合計	135	100.0%

社員数



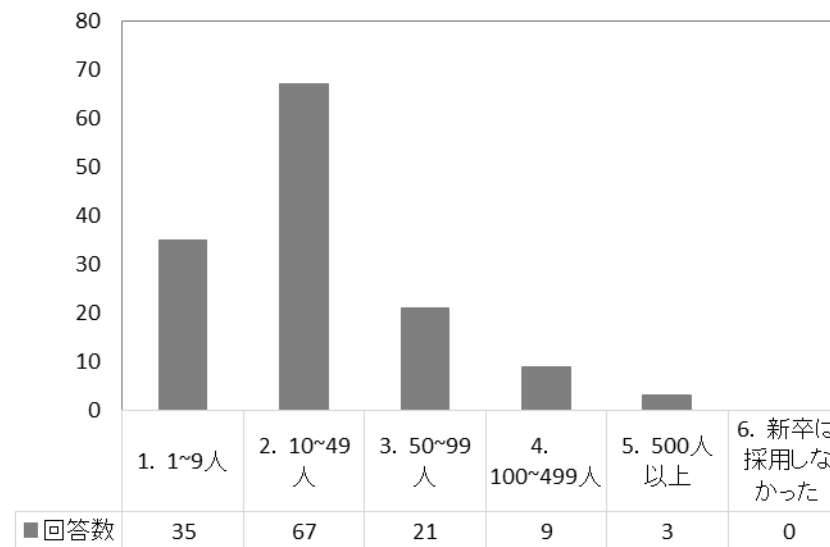


平成28年4月入社の新卒採用人数は「10~49人」が最も多い

問3. 貴事業所の平成28年4月入社の新卒採用状況についてお聞きします。大学・大学院卒の方の採用数とあてはまるものを次の中から1つだけお選びください。

	回答数	比率
1. 1~9人	35	25.9%
2. 10~49人	67	49.6%
3. 50~99人	21	15.6%
4. 100~499人	9	6.7%
5. 500人以上	3	2.2%
6. 新卒は採用しなかった	0	0.0%
合計	135	100.0%

新卒採用状況

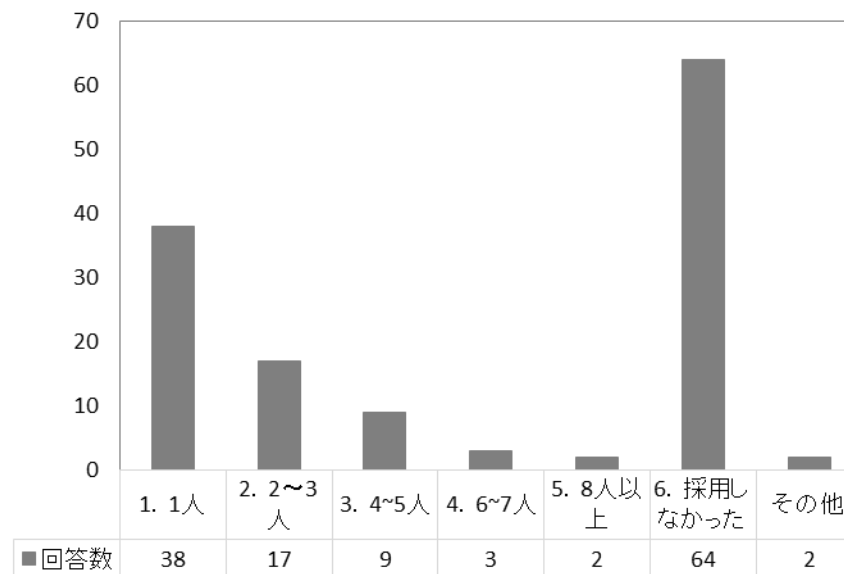


貴学卒業生の採用人数は「採用しなかった」が最も多く、次いで「1人」、「2~3人」の順

問4. 貴事業所の平成28年4月入試の新卒採用について、大東文化大学卒業生の採用実績としてあてはまるものをお選びください。

	回答数	比率
1. 1人	38	28.1%
2. 2~3人	17	12.6%
3. 4~5人	9	6.7%
4. 6~7人	3	2.2%
5. 8人以上	2	1.5%
6. 採用しなかった	64	47.4%
その他	2	1.5%
合計	135	100.0%

大東文化大学採用実績

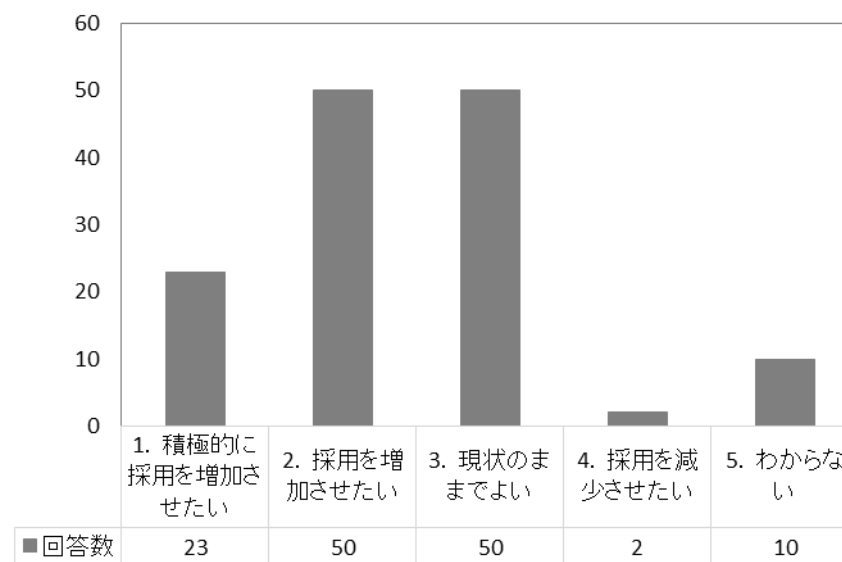


「積極的に採用を増加させたい」と「増加させたい」の合計が73社となった

問5. 将来的な新卒採用数全体について、現時点でどのようにお考えですか。貴事業所の方針に近いものを1つだけお選び下さい。

	回答数	比率
1. 積極的に採用を増加させたい	23	17.0%
2. 採用を増加させたい	50	37.0%
3. 現状のままでよい	50	37.0%
4. 採用を減少させたい	2	1.5%
5. わからない	10	7.4%
合計	135	100.0%

将来的な新卒採用数



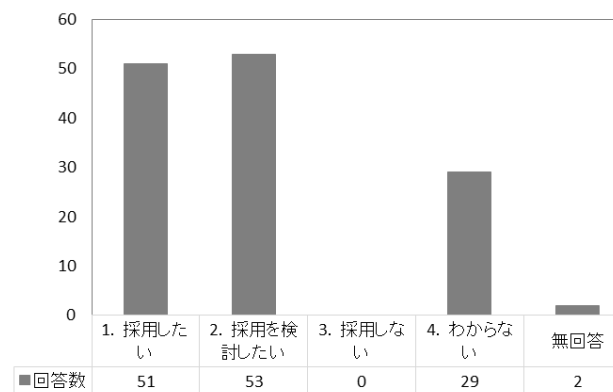
「採用したい」「検討したい」の合計は、歴史文化学科・社会学科でそれぞれ104社・109社

問6. 本学の「文学部歴史文化学科」「社会学部社会学科」のいずれかで学んだ本学学生の新卒採用について、貴事業所の考え方に最も近いものを各学科ごとに1つだけお選びください。

(1)文学部 歴史文化学科

	回答数	比率
1. 採用したい	51	37.8%
2. 採用を検討したい	53	39.3%
3. 採用しない	0	0.0%
4. わからない	29	21.5%
無回答	2	1.5%
合計	135	100.0%

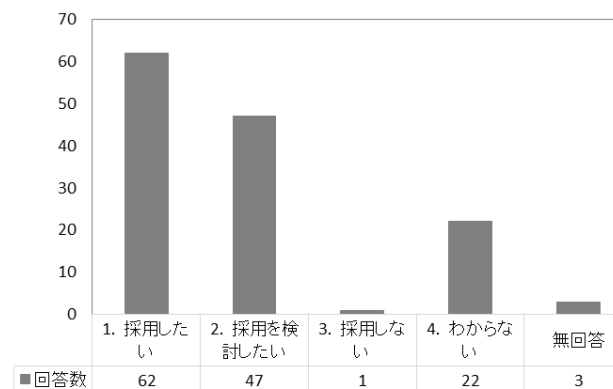
文学部 歴史文化学科の新卒採用



(2)社会学部 社会学科

	回答数	比率
1. 採用したい	62	45.9%
2. 採用を検討したい	47	34.8%
3. 採用しない	1	0.7%
4. わからない	22	16.3%
無回答	3	2.2%
合計	135	100.0%

社会学部 社会学科の新卒採用



歴史文化学科における総採用人数のポテンシャルは、少なく見積もっても190人となった

問7. 問6(1)、(2)で「1. 採用したい」「2. 採用を検討したい」を選択いただいた方におたずねします。具体的な人数を、次の中から該当するものを学科別にそれぞれ1つだけ選んでください。

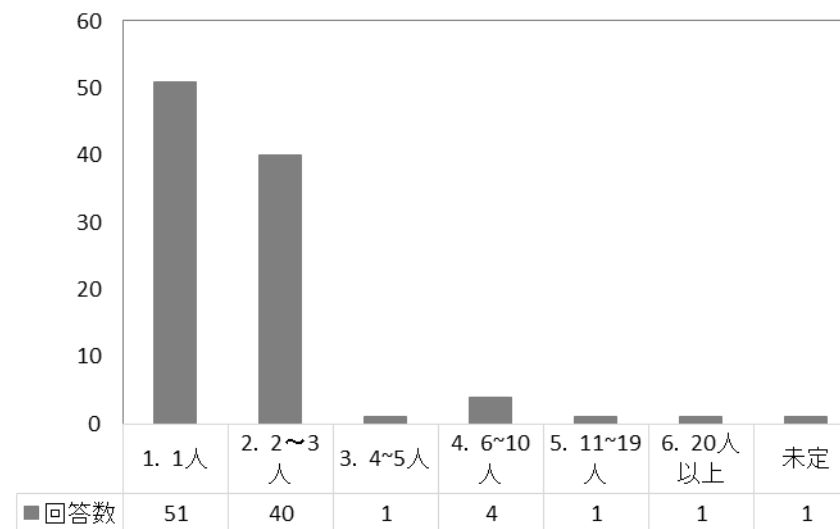
文学部 歴史文化学科

	回答数	比率
1. 1人	51	51.5%
2. 2~3人	40	40.4%
3. 4~5人	1	1.0%
4. 6~10人	4	4.0%
5. 11~19人	1	1.0%
6. 20人以上	1	1.0%
未定	1	1.0%
合計	99	100.0%

※以下の数式でミニマムの総採用人数を算出した。

$$1人 \times 51 + 2人 \times 40 + 4人 \times 1 + 6人 \times 4 + 11人 \times 1 + 20人 \times 1 = \underline{190人}$$

文学部 歴史文化学科の採用人数



社会学科における総採用人数のポテンシャルは、少なく見積もっても210人となった

問7. 問6(1)、(2)で「1. 採用したい」「2. 採用を検討したい」を選択いただいた方におたずねします。具体的な人数を、次の中から該当するものを学科別にそれぞれ1つだけ選んでください。

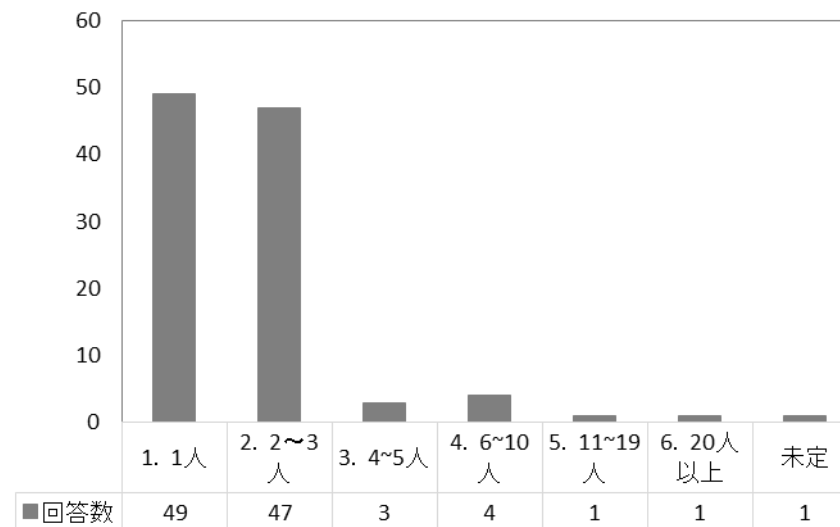
社会学部 社会学科

	回答数	比率
1. 1人	49	46.2%
2. 2~3人	47	44.3%
3. 4~5人	3	2.8%
4. 6~10人	4	3.8%
5. 11~19人	1	0.9%
6. 20人以上	1	0.9%
未定	1	0.9%
合計	106	100.0%

※以下の数式でミニマムの総採用人数を算出した。

$$1人 \times 49 + 2人 \times 47 + 4人 \times 3 + 6人 \times 4 + 11人 \times 1 + 20人 \times 1 = \underline{210人}$$

社会部 社会学科の採用人数



平成 28 年 10 月 吉日

新卒採用ご担当者様

大東文化大学 学長 太田 政男  
キャリアセンター 所長 長谷川 礼

新学部新学科設置に関するアンケート調査へのご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は本学の教育研究活動および学生の採用に関し、ご理解・ご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本学では、2023年の大学創立百周年に向けた将来基本計画「DAITO VISION 2023」を策定し、その具体的施策として、2018年春に「文学部 歴史文化学科」「社会学部 社会学科」「スポーツ・健康科学部 看護学科」（全て仮称）の設置を構想しております。そこで今回、企業の採用ご担当者の皆さまから、「文学部 歴史文化学科」「社会学部 社会学科」（全て仮称）の設置についての率直な意見をお聞きし、学部学科設置の参考にさせていただきたいと思ひ、アンケートを実施することとなりました。

本調査結果は、新学部新学科設置のための統計資料としてのみ使用させていただきますので、回答内容が御社の採用活動に影響をおよぼすことは一切ございません。また、個別の企業名等が公表されることはありません。

つきましては、ご多忙の折、大変お手数ではございますが、アンケートをお送りさせていただきますので、本調査の主旨をご理解の上、何卒ご協力いただきたくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 調査方法  
・別添のリーフレットをご参照のうえ、裏面のアンケートにお答えください。

2. 調査締切日  
・誠に勝手ながら集計作業の都合上、**平成 28 年 10 月 28 日（金）**を目途に、本用紙をご返送いただければ幸いです。  
・同封の返信用封筒（切手不要）にてご投函下さい。

貴事業所名		貴部署名	
		お名前	
ご連絡先	〒 -	電話	( )

●調査実施に関するお問い合わせ先：大東文化大学 学務部（担当：箕輪、矢部、中野）  
電話：03・5399・7333（平日9時～17時、土曜9時～12時） E-mail: gakumu@jm.daito.ac.jp

※ なお、本調査の実施は、所定の契約を結んだ上で業務委託しておりますので、返信用封筒の返送先は、業務委託先である下記調査会社となっております。

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ まなび事業本部 調査担当：小竹・河内  
〒104-0031 東京都中央区京橋2-1-3 京橋トラストタワー 8F（電話：03-6835-3924 FAX：03-6705-0244）

**大東文化大学 新学部新学科 設置に関するアンケート調査**

本学では、2023年の大学創立百周年に向けて「アジアから世界へー多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造」という新理念のもと将来基本計画「DAITO VISION 2023」を策定し、その具体化に向け、2018年春に「文学部 歴史文化学科」「社会学部 社会学科」（全て仮称）の設置を構想しております。  
皆様のご意見をお聞きし、よりよき教育の実現を目指しますので、ご協力のほど宜しくお願い致します。

問1 貴事業所の主業種を次の中から1つだけお選びください。 【回答欄】

1. 農林漁業	2. 鉱業	3. 建設業
4. 製造業	5. 電気・ガス・熱供給・水道業	6. 情報通信業
7. 運輸業・郵便業	8. 卸売業	9. 小売業
10. 金融業	11. 保険業	12. 不動産業・物品賃貸業
13. 飲食店業	14. 宿泊業	15. 医療・福祉業
16. 教育・学習支援業	17. その他サービス業	18. 官公庁・自治体・公共団体
19. その他（具体的に）		

問2 貴事業所の社員数（支店、支社を含める）を次の中から1つだけお選びください。

1. 100人未満	2. 100～300人未満
3. 300～500人未満	4. 500～1,000人未満
5. 1,000～3,000人未満	6. 3,000人以上

問3 貴事業所の平成28年4月入社の新卒採用状況についてお聞きします。大学・大学院卒の方の採用数としてあてはまるものを次の中から1つだけお選びください。

1. 1～9人	2. 10～49人
3. 50～99人	4. 100～499人
5. 500人以上	6. 新卒は採用しなかった

問4 貴事業所の平成28年4月入社の新卒採用について、大東文化大学卒業生の採用実績としてあてはまるものをお選びください。

1. 1人	2. 2～3人
3. 4～5人	4. 6～7人
5. 8人以上	6. 採用しなかった

問5 将来的な新卒採用数全体について、現時点でどのようにお考えですか。貴事業所の方針に近いものを1つだけお選びください。

1. 積極的に採用を増加させたい	2. 採用を増加させたい
3. 現状のままでよい	4. 採用を減少させたい
5. わからない	

問6 本学の「文学部 歴史文化学科」「社会学部 社会学科」のいずれかで学んだ本学学生の新卒採用について、貴事業所の考え方に最も近いものを各学科ごとに1つだけお選びください。

(1) 文学部 歴史文化学科	2. 採用を検討したい
1. 採用したい	3. 採用しない
3. 採用しない	4. わからない
(2) 社会学部 社会学科	2. 採用を検討したい
1. 採用したい	3. 採用しない
3. 採用しない	4. わからない

問7 問6（1）（2）で「1. 採用したい」「2. 採用を検討したい」を選択いただいた方におたずねします。具体的な人数を、次の中から該当するものを学科別にそれぞれ1つだけ選んでください。

1. 1人	2. 2～3人	【文学部 歴史文化学科】	【社会学部 社会学科】
3. 4～5人	4. 6～10人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 11～19人	6. 20人以上		

\*\*\* これでアンケートは終了です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。 \*\*\*

